



鹿児島大学 附属図書館概要 2019

OUTLINE OF
KAGOSHIMA UNIVERSITY
LIBRARY 2019

○巻頭言	2
○理念と基本目標	3
○運営体制と事務組織	4
○図書館サービス	
附属図書館で利用できるサービス、サービス対象者数、開館日数、入館者数	5
入館者数の推移、館外貸出人数及び冊数、貸出冊数の推移	6
貸出期間と冊数、レファレンスサービス、複写サービス、図書・雑誌の貸借	7
文献複写受付、文献複写依頼、情報リテラシー支援、図書館の一般公開：学外者の利用	8
○図書資料の収集	
配架場所別蔵書数、分野別蔵書構成、受入図書数、受入雑誌数	9
受入図書数推移、受入雑誌数推移、図書館資料費、図書館資料費推移	10
○コレクション	
貴重書・古書籍等	11
海外大型コレクション	12
○中央図書館案内	13
○桜ヶ丘分館案内	15
○水産学部分館案内	16
○学術情報基盤整備の取り組み	17
附属図書館ホームページ、電子的学術情報資源の整備	19
特殊コレクション・貴重資料等の電子化、鹿児島大学リポジトリ	20
○貴重書公開事業	21
○平成30年度活動状況	25
○沿革抄	26
○歴代館長・分館長等	31
○交通アクセス	32

前任の鈴木廣志水産学系教授の後任として、本年4月から附属図書館長を拝命いたしました。この場を借りて、まずは就任のご挨拶を申し上げます。附属図書館は歴代館長及び図書館職員の皆様のご尽力、そして活用者としての教職員や学生の方々のご提案等によって常に発展してきております中、微力ではございますが貢献できるよう努めてまいります。

学生時代や大学病院在職期間は本学桜ヶ丘キャンパスで過ごした私は、桜ヶ丘分館をよく訪れていました。まだ、紙媒体が中心だった昭和の終わりから平成の初めの頃ですので、新着雑誌コーナーや雑誌目録などを活用するためには図書館に自ら足を運ぶ必要があり、図書館は身近な存在でした。次第に文献データベースや電子ジャーナル等が一般的になったことにより、研究室や自宅に居ながら時間を気にすることなく、自分の欲しい情報を得ることができるようになりました。このような社会の変化に即した大学附属施設としての新たな役割を自ら創ることが、附属図書館には常に求められています。

平成28年採択「国立大学図書館機能の強化と革新に向けて～国立大学図書館協会ビジョン2020～」では、「大学図書館は、今日の社会における知識基盤として、記憶媒体の如何を問わず、知識、情報、データへの障壁なきアクセスを可能にし、それらを活用し、新たな知識、情報、データの生産を促す環境を提供することによって、大学における教育研究の進展とともに社会における知の共有や創出の実現に貢献する」と大学図書館の基本理念を定めています。さらに、知の共有や創出のためのキーワードを「蔵書（を超えた）・場・人材」とし、それぞれを重点領域と位置付けた行動目標が設定されていますので、各大学は自らの役割を考慮して具体的な目標達成のための取り組みを進めているところです。

本学のその取り組みの一つに、学生・教員・図書館職員が鹿児島大学らしいあり方についての検討を重ねて平成30年10月にオープンしたラーニング・コモンズがあります。本年度は学修支援の充実はもとより、学術情報の拠点である図書館ならではの更なる有効活用に向けて検討と実践を行うことにしています。また、専門の研究者のご尽力によって貴重書公開や講演会の継続的な開催など、地域との知の共有の場の役割も果たしています。

目の前にある課題としては、電子ジャーナルの高騰、学術論文や教育研究情報のオープン化、貴重書の電子化、機関リポジトリのあり方などがあります。このような研究支援における課題には、大学として戦略的な視点をもって取り組む必要があります。図書館だけではなく、関係部署との連携・協働は欠かせませんし、特に電子ジャーナル契約については、他大学・機関の動向にも注目しながらより良い選択ができるように努めます。

令和元年に本学は創立70周年を迎えます。附属図書館は、鹿児島大学七十年史の編集事業を昨年度から主に担当しています。これまでの歩みを振り返るとともに、学長の掲げる「南九州から世界に羽ばたくグローバル教育研究拠点・鹿児島大学」の附属図書館としての発展を目指します。



附属図書館長
橋口 知

令和元年6月

附属図書館の理念と使命

■鹿児島大学附属図書館は、鹿児島大学の基本理念に基づき、高等教育と学術研究活動を支える重要な学術情報基盤としての役割を担う。また、鹿児島大学附属図書館の特色を活かした学術資料の収集と図書館サービスを行うため、次の使命を持つ。

1. 教育、研究および学修に関わる学術資料の収集、保存、組織化を行う。
2. 学生が、学術資料を利用して、自ら学修する環境を提供する。
3. 学生・教員及び一般市民が、学術資料を利用して教育・研究活動を行う環境を提供する。
4. 学術資料・情報活用を主眼とした情報リテラシー教育を支援する。
5. 本学及び地域で生産される学術資料を収集・保存し、電子化して公開する。
6. 本学で所蔵する学術資料及び貴重資料の公開等を通じて、地域の文化振興に貢献する。
7. 図書館サービス向上のため、他大学図書館等との相互協力を図る。

附属図書館の基本目標

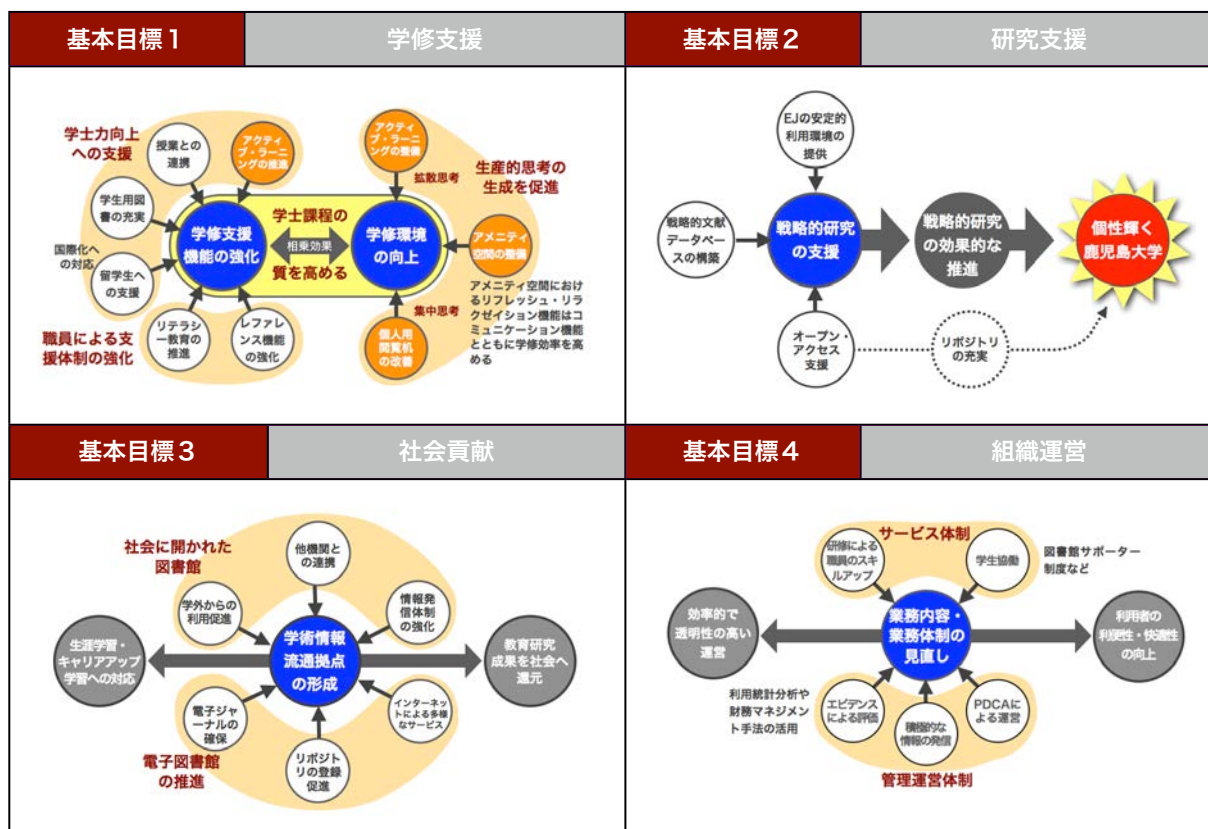
■附属図書館の基本理念・使命および鹿児島大学の中期目標・計画に沿って、閲覧中心型図書館から学修支援型図書館へ転換する。授業との連携を強め、専門家の目を通して収集・整理された良質な学術情報をベースに、他者とのコミュニケーションやディベートを媒介としたアクティブ・ラーニングを促進させ、知識の活用能力の向上に寄与する。また学術情報の発信・流通を促進させ、本学における戦略的テーマの推進とともに、地域における生涯学習、キャリアアップ学習を支援する体制を整える。

基本目標 1：学修支援機能の強化と学修環境の向上により教育における学術情報の有効活用を促進する。

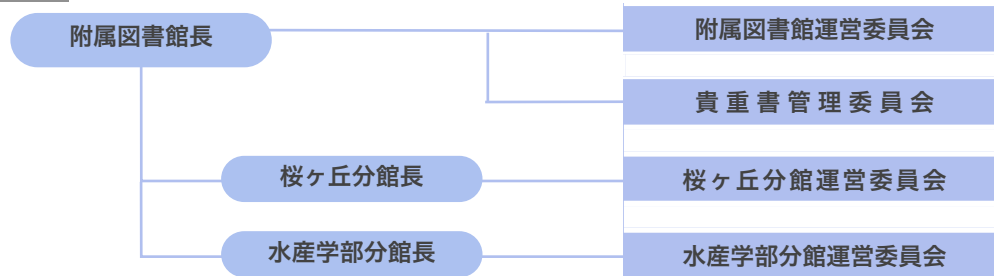
基本目標 2：本学の戦略的研究テーマの推進をサポートするために、学術情報の効果的な収集・提供体制を強化する。

基本目標 3：本学で生み出された学術情報を積極的に発信するとともに鹿児島県における学術流通促進の拠点として整備する。

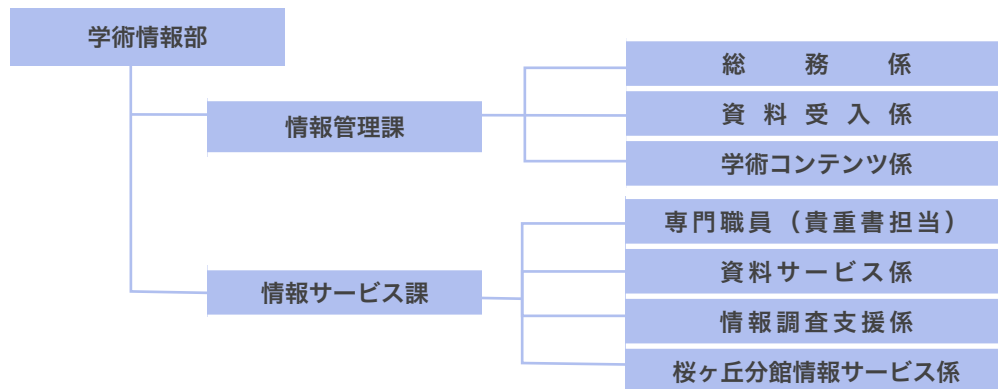
基本目標 4：業務内容・業務体制の見直しによる利用者の利便性と快適性の向上に努める。



■運営体制



■事務組織



■職員配置

(平成31年4月1日現在)

		常勤職員	非常勤職員		計
			定時勤務職員	短時間勤務職員	
学術情報部長		1 (1)			1
情報管理課	課長	1			1
	課長代理	1			1
	総務係	1	1		2
	資料受入係	2 (1)	1	1 (1)	4
	学術コンテンツ係	3 (2)		1 (1)	4
	特任専門員（七十年史事務担当）			1	1
情報サービス課	課長	1			1
	課長代理	1 (1)			1
	専門職員（貴重書担当）	1 (1)			1
	資料サービス係	4 (3)		4 (4)	8
	情報調査支援係	2 (2※)	1 (1)	1	4
	桜ヶ丘分館情報サービス係	3 (2※)		3 (3)	6
計		21 (13)	3 (1)	11 (9)	35

() は司書資格取得者の内数。ただし、※のうち各1名は司書補資格取得者

■附属図書館運営委員会（平成31年4月1日現在）

委員長

附属図書館長

橋口 知

委員

桜ヶ丘分館長

築瀬 誠

医学部教授

中尾 優子

水産学部分館長

重廣 律男

歯学部教授

田松 裕一

法文学部教授

金井 静香

大学院医歯学総合研究科教授

谷本 昭英

大学院臨床心理学研究科准教授

吉村 隆之

工学部教授

鯨坂 徹

大学院理工学研究科教授

鯨坂 徹

農学部准教授

一谷 勝之

教育学部准教授

和田 七洋

水産学部教授

佐野 雅昭

理学部教授

廣井 政彦

共同獣医学部准教授

畑井 仁



附属図書館で利用できるサービス

- 本・雑誌を探す・利用する

 - ・まなぶたSearch
様々なデータベースから学術情報を一度に探す
 - ・ブックマCatalog
鹿児島大学が所蔵する本・雑誌を探す
 - ・国内の図書館にある本・雑誌を探す
 - ・出版社や書店の本を探す
 - ・海外にある本・雑誌を探す
 - ・電子書籍を利用する
 - ・事典・辞書等の総合データベースを利用する
 - ・本学関係者著作物（リスト）を見る

■学術論文を探す・利用する

 - ・まなぶたSearch
様々なデータベースから学術情報を一度に探す
 - ・データベース一覧
個々のデータベースで探す
 - ・電子ジャーナルを利用する＊

■学内データベースを利用する

 - ・鹿児島大学リポジトリ
 - ・鹿児島県学術共同リポジトリ
 - ・貴重書・大型コレクション
 - ・多島域データベース

■その他の情報を調べる

 - ・新聞記事を探す
 - ・辞書や辞典を利用する
 - ・リンク集を利用する
- 学習・研究支援サービス

 - ・レファレンスサービス
 - ・各種ガイダンス（情報リテラシー教育）
 - ・文献調査の支援
 - ・レポート作成の支援
 - ・クイックガイド
 - ・英語多読

■授業支援サービス（教員向け）

 - ・情報リテラシーの出張授業を依頼する＊

■館内の施設・設備を利用する

 - ・研究個室を利用する＊
 - ・グループ学習室、セミナールームを利用する＊
 - ・AV資料を利用する
 - ・放送大学の番組を視聴する
 - ・パソコンおよびネットワークを利用する
 - ・パソコン、プロジェクターを借りる＊
 - ・無線LANを利用する
 - ・館内資料をコピーする
 - ・大判プリンタを利用する
 - ・プリンタを利用する
 - ・ギャラリーを利用する
 - ・視覚障害者向け支援機器を利用する
 - ・大学歴史展示室

■その他のサービス

 - ・他キャンパスや他機関の資料を申し込む＊
 - ・欲しい本を購入してもらう＊
 - ・学生用図書を推薦する（教員向け）＊
 - ・My Library＊
各種申込や図書の予約

＊印は学内者のみへのサービスです



サービス対象者数（令和元年5月1日現在）

	学 生				教職員			合 計
	学部	大学院	その他	計	教員	職員他	計	
中央図書館	8,772	1,554	226	10,552	1,266	2,781	4,047	14,599
桜ヶ丘分館	1,493	426	103	2,022	492	1,961	2,453	4,475
水産学部分館	605	242	9	856	46	62	108	964

中央図書館：全学の学生・教職員



開館日数（平成30年度）

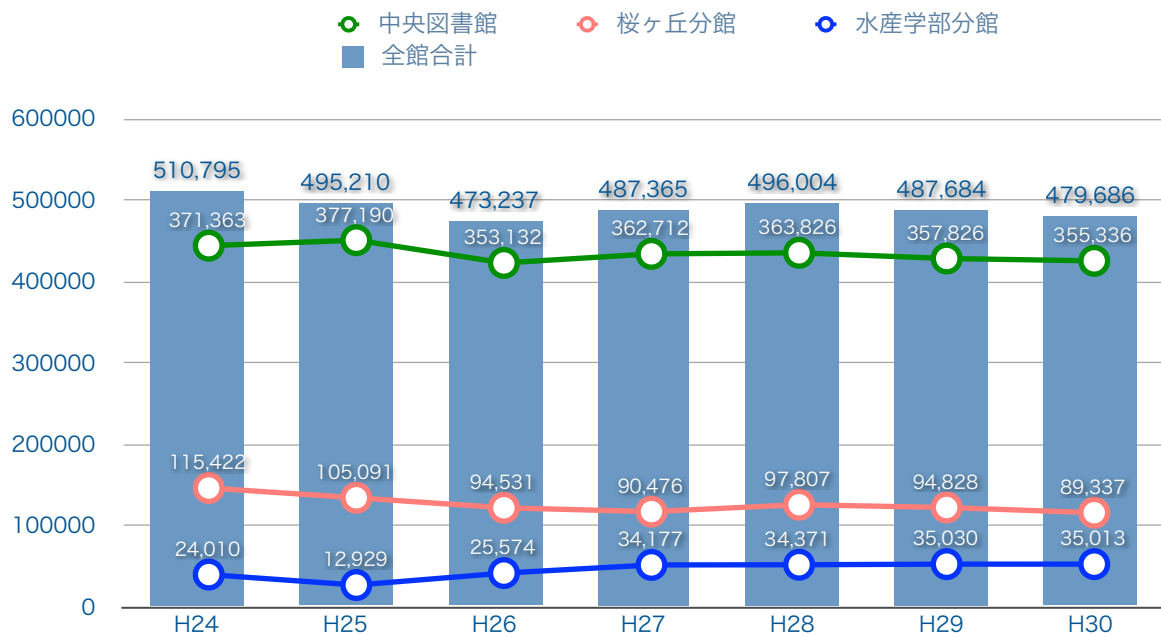
	開 館 日 数					夜間開館(月一金)	
	平 日	土 曜	日 曜	祝 日	合 計	日 数	時間数
中央図書館	228	34	34	8	304	174	740
桜ヶ丘分館	237	48	49	11	345	225	976
水産学部分館	237	31	3	5	276	176	528



入館者数（平成30年度）

	平日			土曜	日曜	祝日	合計
	17:15まで	17:15以降	計				
中央図書館	225,463	81,855	307,318	18,894	20,091	9,033	355,336
桜ヶ丘分館	56,090	22,772	78,862	4,085	5,106	1,284	89,337
水産学部分館	28,021	4,729	32,750	1,682	229	352	35,013
合計	309,574	109,356	418,930	24,661	25,426	10,669	479,686

入館者数の推移（平成24年度～平成30年度）

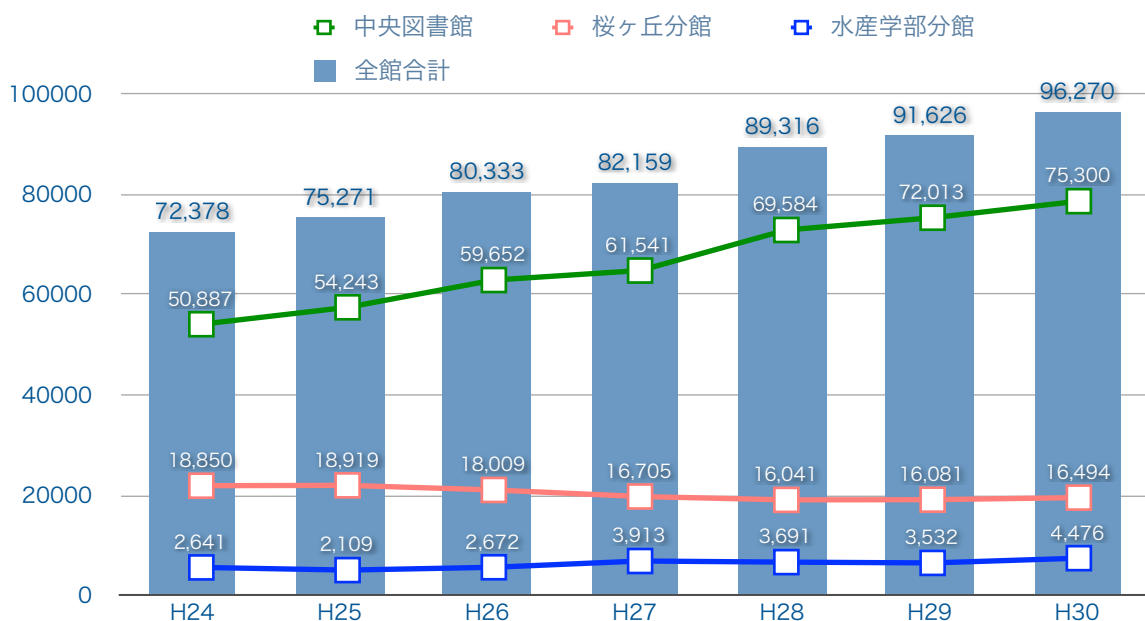


※水産学部分館休館：H25.9～H26.5

館外貸出人数及び冊数（平成30年度）

	人数				冊数			
	学生	教職員	学外者	計	学生	教職員	学外者	計
中央図書館	36,872	2,805	1,542	41,219	66,895	5,767	2,638	75,300
桜ヶ丘分館	7,824	1,653	0	9,477	12,550	3,944	0	16,494
水産学部分館	2,276	179	16	2,471	3,971	480	25	4,476
合計	46,972	4,637	1,558	53,167	83,416	10,191	2,663	96,270

貸出冊数の推移（平成24年度～平成30年度）



※水産学部分館休館：H25.9～H26.5



貸出期間と冊数

	利用者区分	図書			雑誌(注)	
		期間	冊数	更新回数	期間	冊数
中央図書館	学部学生	14日以内	10冊まで	1回	2日間	3冊まで
	大学院学生	30日以内	20冊まで			
	職員					
	名誉教授					
	定年退職者及びこれに準ずる者	30日以内	10冊まで			
	山口大学共同獣医学部学生	14日以内	10冊まで			
	山口大学大学院共同獣医学研究科大学院学生	30日以内	20冊まで			
	一般利用者	14日以内	3冊まで			
桜ヶ丘分館	学部学生	14日以内	5冊まで	1回	2日間	3冊まで
	大学院学生		10冊まで			
	職員					
	名誉教授					
	定年退職者及びこれに準ずる者					
	山口大学共同獣医学部学生		5冊まで			
	山口大学大学院共同獣医学研究科大学院学生		10冊まで			
	水産学部分館		学部学生			
大学院学生		30日以内	20冊まで			
職員						
名誉教授						
定年退職者及びこれに準ずる者		30日以内	10冊まで			
山口大学共同獣医学部学生		14日以内	5冊まで			
山口大学大学院共同獣医学研究科大学院学生		30日以内	20冊まで			
一般利用者		14日以内	3冊まで			

(注)中央図書館：最新号を除く
桜ヶ丘分館：製本済雑誌を含む(ただし、更新できない)、未製本雑誌は新着雑誌を除く



レファレンスサービス（平成30年度）

	利用者別				内容別				
	学生	教職員	学外者	計	所在調査	事項調査	利用指導	その他	計
中央図書館	1,566	177	327	2,070	857	53	1,160	0	2,070
桜ヶ丘分館	94	12	126	232	96	14	122	0	232
水産学部分館	123	7	8	138	46	14	78	0	138
合計	1,783	196	461	2,440	999	81	1,360	0	2,440



複写サービス（平成30年度）

	利用者別（件数）				複写形態別（枚数）			
	館内 （学内）	相互利用（学外）		計	電子複写	マイクロ フィルム	マイクロ フィッシュ	計
		大学図書館	その他					
中央図書館	1,388	867	135	2,390	18,129	1,638	0	19,767
桜ヶ丘分館	729	674	233	1,636	9,344	0	0	9,344
水産学部分館	91	68	18	177	2,094	0	0	2,094
合計	2,208	1,609	386	4,203	29,567	1,638	0	31,205



図書・雑誌の貸借（平成30年度）

	貸 出					借 受				
	キャンパス間	学外（国内）		国外	計	キャンパス間	学外（国内）		国外	計
		大学図書館	その他				大学図書館	その他		
中央図書館	78	226	7	0	311	457	340	294	0	1091
桜ヶ丘分館	1	13	1	0	15	2	8	1	0	11
水産学部分館	0	21	3	0	24	0	3	0	0	3
合計	79	260	11	0	350	459	351	295	0	1,105

文献複写受付（平成30年度）

	キャンパス間			学外（国内）					学外（国外）			合計
				大学図書館		その他		計				
	公費	私費	計	公費	私費	公費	私費		公費	私費	計	
中央図書館	23	10	33	371	477	109	45	1,002	0	19	19	1,054
桜ヶ丘分館	11	25	36	254	422	34	193	903	0	0	0	939
水産学部分館	5	54	59	37	31	11	7	86	0	0	0	145
合計	39	89	128	662	930	154	245	1,991	0	19	19	2,138

文献複写依頼（平成30年度）

	キャンパス間			学外（国内）					学外（国外）			合計
				大学図書館		その他		計				
	公費	私費	計	公費	私費	公費	私費		公費	私費	計	
中央図書館	16	77	93	623	892	92	236	1,843	4	0	4	1,940
桜ヶ丘分館	20	6	26	720	459	43	38	1,260	1	0	1	1,287
水産学部分館	3	6	9	28	10	11	6	55	0	0	0	64
合計	39	89	128	1,371	1,361	146	280	3,158	5	0	5	3,291

情報リテラシー支援（平成30年度）

学生の情報リテラシー支援や研究者の研究サポートとして以下のような支援を行った。

■図書館利用案内：利用案内、施設案内

■図書館情報活用ガイダンス：（授業科目）授業支援としての蔵書検索、文献検索等の説明及び演習
（図書館開催）蔵書検索、文献検索、レポート作成方法等の説明及び演習

■利用説明会：データベースや電子ジャーナルの利用説明会

	図書館利用案内		図書館情報活用ガイダンス				利用説明会	
			授業科目		図書館開催			
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
中央図書館	25	932	62	1,873	11	122	3	28
桜ヶ丘分館	4	272	3	147	0	0	0	0
水産学部分館	5	75	0	0	1	2	0	0
合計	34	1,279	65	2,020	12	124	3	28

図書館の一般公開：学外者の利用（平成26年度～平成30年度）

附属図書館では、一般市民の生涯学習を支援するために図書館サービスを行っており、多くの市民に利用されている。中央図書館及び水産学部分館においては、館内に配置している資料の閲覧、参考調査、文献複写等に加えて、図書の貸出を実施している。一般市民が直接来館し身分証明書等を提示して申し込めば、「図書館利用票」を発行し、貸出を行っている。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
中央図書館	14,952	20,527	13,182	14,637	14,492
桜ヶ丘分館	1,049	1,089	1,386	878	656
水産学部分館	49	39	21	208	182
合計	16,050	21,655	14,589	15,723	15,330
中央図書館「図書館利用票」登録人数	858	1,025	1,109	988	1,006

配架場所別蔵書数（平成31年4月1日現在）							
		図書（冊数）			雑誌（総種類数）		
		和漢書	洋書	合計	和漢書	洋書	合計
中央図書館	図書館配架	471,209	184,351	655,560	17,191	7,579	24,770
	研究用貸出	269,918	88,407	358,325	5,241	2,102	7,343
	合計	741,127	272,758	1,013,885	22,432	9,681	32,113
桜ヶ丘分館	図書館配架	77,904	58,387	136,291	3,976	1,544	5,520
	研究用貸出	28,106	12,548	40,654	667	566	1,233
	合計	106,010	70,935	176,945	4,643	2,110	6,753
水産学部分館	図書館配架	25,001	7,147	32,148	2,316	1,080	3,396
	研究用貸出	19,494	6,604	26,098	243	58	301
	合計	44,495	13,751	58,246	2,559	1,138	3,697
3館合計	図書館配架	574,114	249,885	823,999	23,483	10,203	33,686
	研究用貸出	317,518	107,559	425,077	6,151	2,726	8,877
総計		891,632	357,444	1,249,076	29,634	12,929	42,563

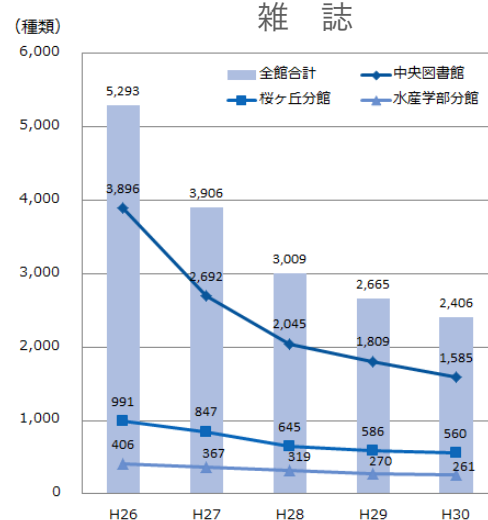
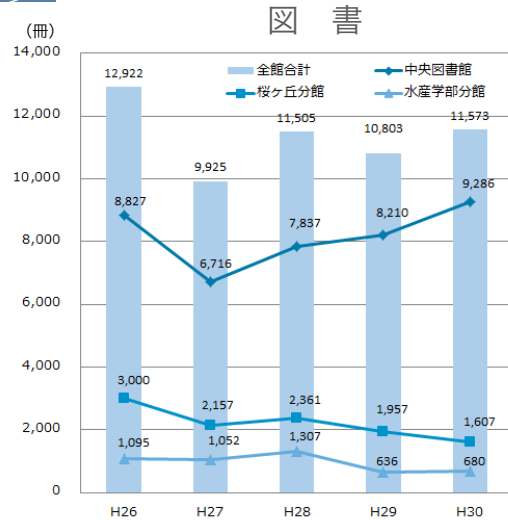
分野別蔵書構成（平成31年4月1日現在）												(冊数)
	区 分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	合計
和漢書	中央図書館	66,844	41,909	78,763	202,043	102,112	67,612	52,310	30,643	28,125	70,766	741,127
	桜ヶ丘分館	836	1,883	722	5,100	92,354	961	332	738	1,562	1,522	106,010
	水産学部分館	1,731	421	1,275	6,044	12,793	6,224	13,191	904	1,138	774	44,495
	小 計	69,411	44,213	80,760	213,187	207,259	74,797	65,833	32,285	30,825	73,062	891,632
洋書	中央図書館	14,135	18,237	17,062	52,769	80,091	19,049	19,892	5,172	13,786	32,565	272,758
	桜ヶ丘分館	538	228	75	606	68,636	56	35	55	284	422	70,935
	水産学部分館	420	107	255	607	5,404	2,240	4,141	246	256	75	13,751
	小 計	15,093	18,572	17,392	53,982	154,131	21,345	24,068	5,473	14,326	33,062	357,444
	合 計	84,504	62,785	98,152	267,169	361,390	96,142	89,901	37,758	45,151	106,124	1,249,076

受入図書数（平成30年度）													(冊数)
		購入			製本			寄贈			合計		総計
		和漢書	洋書	合計	和漢書	洋書	合計	和漢書	洋書	合計	和漢書	洋書	
中央図書館	図書館配架	5,454	216	5,670	65	22	87	986	97	1,083	6,505	335	6,840
	研究用貸出	1,219	116	1,335	0	0	0	876	235	1,111	2,095	351	2,446
	小計	6,673	332	7,005	65	22	87	1,862	332	2,194	8,600	686	9,286
桜ヶ丘分館	図書館配架	901	58	959	200	38	238	73	2	75	1,174	98	1,272
	研究用貸出	211	7	218	72	31	103	14	0	14	297	38	335
	小計	1,112	65	1,177	272	69	341	87	2	89	1,471	136	1,607
水産学部分館	図書館配架	508	27	535	85	22	107	27	9	36	620	58	678
	研究用貸出	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	小計	510	27	537	85	22	107	27	9	36	622	58	680
3館合計	図書館配架	6,863	301	7,164	350	82	432	1,086	108	1,194	8,299	491	8,790
	研究用貸出	1,432	123	1,555	72	31	103	890	235	1,125	2,394	389	2,783
総計		8,295	424	8,719	422	113	535	1,976	343	2,319	10,693	880	11,573

受入雑誌数（平成30年度）		（種類）								
		購入			寄贈			合計		総計
		和漢書	洋書	合計	和漢書	洋書	合計	和漢書	洋書	
中央図書館	図書館配架	131	32	163	815	26	841	946	58	1,004
	研究用貸出	449	118	567	14	0	14	463	118	581
	計	580	150	730	829	26	855	1,409	176	1,585
桜ヶ丘分館	図書館配架	10	18	28	211	15	226	221	33	254
	研究用貸出	193	113	306	0	0	0	193	113	306
	計	203	131	334	211	15	226	414	146	560
水産学部分館	図書館配架	29	2	31	189	18	207	218	20	238
	研究用貸出	21	1	22	1	0	1	22	1	23
	計	50	3	53	190	18	208	240	21	261
3館合計	図書館配架	170	52	222	1,215	59	1,274	1,385	111	1,496
	研究用貸出	663	232	895	15	0	15	678	232	910
総計		833	284	1,117	1,230	59	1,289	2,063	343	2,406



受入図書数推移、受入雑誌数推移



図書館資料費 (平成30年度)

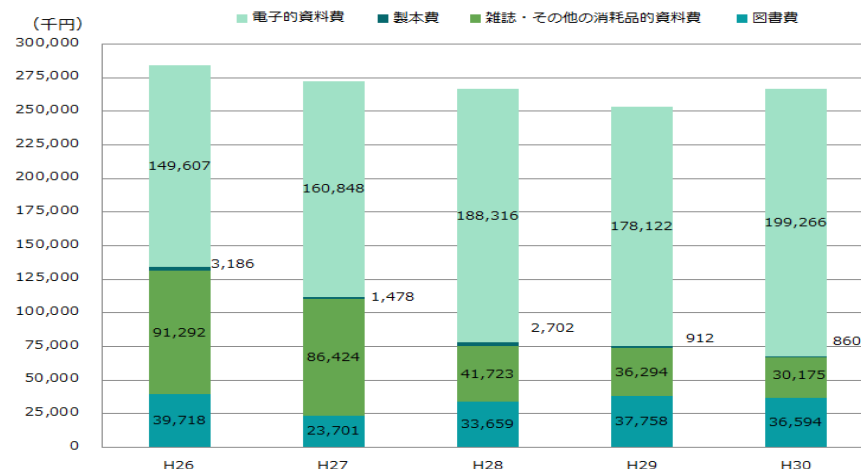
(千円)

		図書費			雑誌・その他の消耗品的資料費			製本費			電子的資料費			合計		総計
		和書	洋書	計	和書	洋書	計	和書	洋書	計	和書	洋書	計	和書	洋書	
中央図書館	図書館	18,899	740	19,639	1,698	2,503	4,200	108	28	136	4,033	172,281	176,314	24,737	175,552	200,289
	部局	5,854	1,143	6,997	5,967	5,822	11,789	35	6	41	62	2,116	2,179	11,919	9,087	21,006
	計	24,753	1,883	26,636	7,665	8,325	15,989	143	34	177	4,095	174,397	178,493	36,636	184,639	221,295
桜ヶ丘分館	図書館	5,659	1,227	6,887	227	332	559	274	56	329	2,407	7,881	10,288	8,566	9,496	18,062
	部局	1,169	157	1,326	5,492	7,174	12,666	65	110	175	0	10,486	10,486	6,726	17,928	24,654
	計	6,828	1,385	8,213	5,719	7,506	13,225	339	166	505	2,407	18,367	20,774	15,293	27,423	42,716
水産学部分館	図書館	1,602	144	1,746	476	119	595	143	35	178	0	0	0	2,220	298	2,518
	部局	0	0	0	345	21	367	0	0	0	0	0	0	345	21	367
	計	1,602	144	1,746	821	140	961	143	35	178	0	0	0	2,566	319	2,885
3館合計	図書館	26,160	2,111	28,271	2,400	2,954	5,354	524	118	643	6,440	180,162	186,602	35,524	185,345	220,869
	部 局	7,023	1,300	8,323	11,804	13,017	24,821	100	116	217	62	12,602	12,665	18,990	27,036	46,026
総計		33,183	3,411	36,594	14,205	15,972	30,175	625	235	860	6,502	192,764	199,266	54,514	212,381	266,896

※端数処理上、小計及び計が一致しない場合有り。



図書館資料費推移





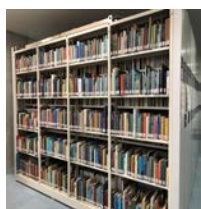
貴重書・古書籍等

文庫名	内容等	
玉里文庫	島津久光及び玉里島津家の旧蔵書（受入年度 昭和26年） 久光の直筆本、島津家編輯本、和漢書の写本類、薩摩藩関係史誌、幕末洋学関係翻訳書の写本等 18,730冊 〔配架場所〕 中央図書館（貴重書庫） 〔目 録〕 玉里文庫目録（冊子目録） 昭和41年刊 玉里文庫漢籍分類目録（冊子目録） 平成6年刊 鹿児島大学デジタルコレクション（オンライン目録データベース）	
岩元文庫	旧制第一高等学校教授であった岩元禎氏の旧蔵書（受入年度 昭和30年） 漢籍と文学・哲学関係の洋書 漢籍4,515冊、洋書826冊 〔配架場所〕 中央図書館 〔目 録〕 岩元文庫目録（冊子目録） 昭和43年刊 鹿児島大学デジタルコレクション（オンライン目録データベース）	
松本文庫	旧制第八高等学校漢文学教授であった松本亦一氏の旧蔵書（受入年度 昭和29年） 漢籍と和書、医書を多く含む 2,186冊 〔配架場所〕 中央図書館 〔目 録〕 松本文庫目録（冊子目録） 昭和59年刊 鹿児島大学デジタルコレクション（オンライン目録データベース）	
小北文庫	旧制鹿児島高等農林学校校長小出満二氏が渡豪中に実業家北村寅之助氏の助力を得て収集し、後に同校図書館に寄贈したオーストラリア、太平洋諸島関係洋書 686冊（受入年度 大正9年） 〔配架場所〕 中央図書館 〔目 録〕 小北文庫目録（冊子目録） 昭和45年刊	
小野文庫	元法政大学教授小野武夫博士の旧蔵書（受入年度 昭和25年） 農業経済、農業史、地方史を中心とするコレクション 4,127冊 〔配架場所〕 中央図書館 〔目 録〕 小野文庫目録（冊子目録） 昭和37年刊	
市来文庫	伊佐市の郷土史家であった市来政香氏旧所蔵 政香氏収集の文書記録類 同様に市来政香氏旧蔵書で当館所蔵の中世・近世の市来家文書に連なる史料9冊	
鹿児島県地券台帳	明治15年鹿児島県における地券発行原簿のコレクション（受入年度 昭和47年） 出水、川辺、揖宿、肝属、大隅、熊毛、馭謨、臼杵の各郡が比較的まとまっている附属資料として共有地台帳、地価修正一筆限帳等が含まれる 2,944冊 〔配架場所〕 中央図書館	

文書	点数	文書	点数	文書	点数
市来家文書	105点	川田家文書	116点	木脇家文書	18点
山田家文書	30点	寺尾家文書	387点	伊集院家文書	17点
有馬家文書	61点	志々目家文書	37点	長野家文書	141点
斑目家文書	17点	伊勢家文書	695点	新納家文書	144点
肝付家文書	65冊	八田家文書	2巻(13点)		

※書名リストについては、図書館ホームページから閲覧可能

 海外大型コレクション

コレクション名	内容等	
Siboga-Expeditie monographie. 1901-1970 (シボガ学術探検研究報告)	1899年から1900年にかけて、東インド諸島(現在のインドネシア諸島)海域でオランダの蒸気船シボガ号により行われた学術探検航海の報告書147冊 (オリジナル) 受入年度 昭和54年	
Challenger expedition : report of the scientific results of the voyage of H.M.S. Challenger during the years of 1871-1876. (チャレンジャー学術探検研究報告)	1872年から1876年にかけて、W.Thomson卿率いる調査隊がイギリス軍艦チャレンジャーにより、大西洋、太平洋、南極海域で行った海洋調査の報告書50冊 (オリジナル) 受入年度 昭和59年	
Collection of dissertations in marine social science, 1952-1985. (海洋社会科学学位論文コレクション)	北米98大学で過去半世紀にわたって受理された海洋社会科学関係の学位論文集300冊 (リプリント) 受入年度 昭和60年	
TheTimes;417 original daily editions including all articles on Japan 1852-1877. (タイムズ：幕末から明治初期の日本に関する記事)	ペリ-来航から西南戦争までの明治維新前後27年間にタイムズ紙に掲載された日本関係の記事を含む頁を収集したもの11冊 (オリジナル) 受入年度 平成3年	
Serials on scietific expedition. (海洋学術探検コレクション)	20世紀のはじめから後半にかけて世界の主要海域で行われた海洋調査の報告でガラテア号世界周航探検報告、国際インド洋調査報告、グレートバリアリーフ学術探検報告、アルバトロス号の世界周航深海探検報告等を含む13点 (オリジナル) 受入年度 平成5年	
Islands and Cultures of the East and West (世界の島の文化に関するコレクション)	全世界の400あまりにおよぶ島嶼と住民に関する資料のコレクション。ほとんどが民族学、人類学に関する英語で書かれた資料で、スコットランド周辺島嶼とアジア太平洋の熱帯・亜熱帯多島域に関するものが多い。1,874点 (オリジナル) 受入年度 平成11年	



[場 所]
〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番35号
TEL 099-285-7415 FAX 099-259-3442、099-285-7413

[開館時間]
月～金曜日 8:30～21:30
土・日曜日 10:00～18:00

[休 館 日]
国民の祝日・年末年始等(12月27日～1月3日)

[施 設]		・総座席数		915席
・鉄筋地上5階地下2階建(平成8年12月竣工)				
・延床面積	12,697㎡	サービススペース	2,044㎡	
閲覧スペース	4,459㎡	歴史資料展示室	140㎡	
収蔵スペース	2,359㎡	その他	2,920㎡	
事務室等	775㎡			

1 階

閲覧席
新着図書、進取の精神図書
教員著書、郷土資料、鹿児島大学刊行物

新聞閲覧コーナー
カウンター
パソコン端末室
AVコーナー
ビデオ・DVD、放送大学
視覚障害者支援機器

リーダープリンタ室 (大判プリンター設置)
大学歴史展示室
ギャラリー‘アトリウム’
ラーニングcommons



カウンター



ラーニングcommons



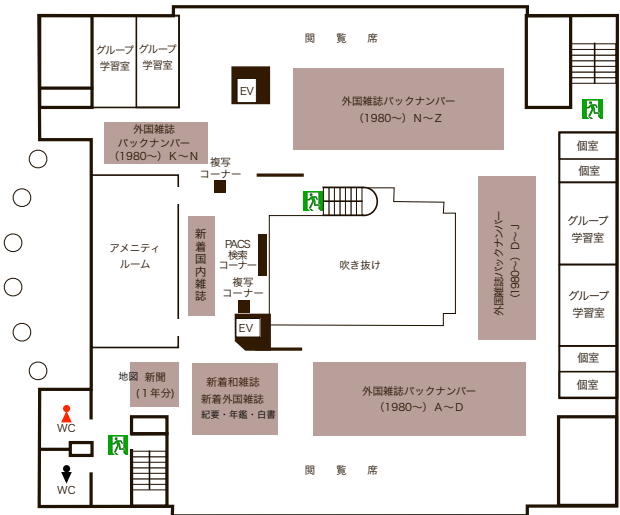
2 階

閲覧席・電動式集密書架
外国雑誌 (1980年以降)
新着雑誌コーナー
新聞 (最新1年分)

グループ学習室
研究個室
アメニティルーム



アメニティルーム



3階

閲覧席

総記・哲学・歴史・社会科学
放送大学教材
教科書（小・中・高）
辞典・事典・ハンドブック

自動集密書架

大学紀要

グループ学習室

研究個室



4階

閲覧席

自然科学・技術・産業・芸術・言語・文学
辞典・事典・ハンドブック
小型本（文庫・新書等）

電動式集密書架

抄録・索引誌、大型コレクション

グループ学習室

研究個室

情報リテラシー支援室



グループ学習室

情報リテラシー支援室

5階

ライブラリーホール

貴重書保管・展示室

特殊資料書庫

*この階の入室には許可が必要です



地下1階

開架書庫

新聞（過去分原紙・縮刷版）
政府刊行物
外国雑誌（1979年以前および中国語・ハングル・キリル）
国内雑誌

地下2階

開架図書

稀用一般図書



[場 所]
〒890-8532 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35-1
TEL 099-275-5205 FAX 099-275-5204

[開館時間]
月～金曜日 8:30～21:30
土・日曜日 10:00～18:00

[休 館 日]
国民の祝日・年末年始等(12月27日～1月3日)

[施 設]

・鉄筋3階建（昭和52年4月竣工、昭和56年5月増築）
・延床面積 1,980㎡
 閲覧スペース 1,229㎡ 事務室等 211㎡
 サービススペース 208㎡ その他 143㎡
 収蔵スペース 189㎡

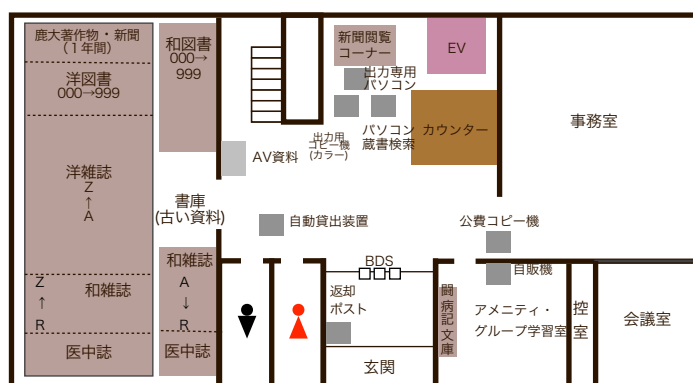
・総座席数 177席

1 階

カウンター
アメニティ・グループ学習室（闘病記文庫）
新聞閲覧コーナー
パソコン端末コーナー
書庫（古い資料）
AV資料
鹿大著作物コーナー



アメニティ・グループ学習室



2 階

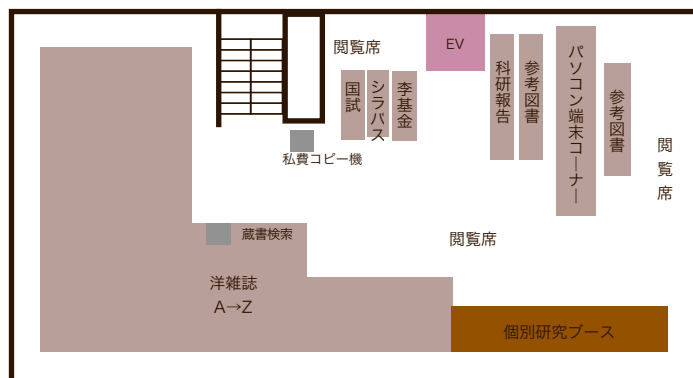
洋雑誌バックナンバー
参考図書
国試・シラバス
科研報告書
パソコン端末コーナー
李友榮基金コーナー
個別研究ブース



閲覧スペース

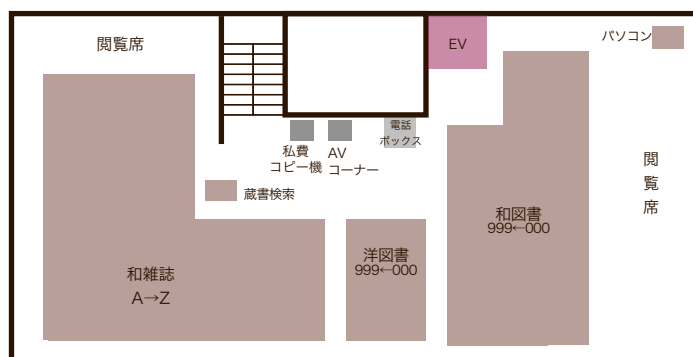


個別研究ブース



3 階

和雑誌バックナンバー
和図書・洋図書
パソコン端末コーナー
AVコーナー
電話ボックス





[場 所]

〒890-0056 鹿児島市下荒田四丁目50番20号

TEL 099-286-4051 FAX 099-286-4053

[開館時間]

月～金曜日 8:30～20:00

土曜日 10:00～17:00

[休館日]

日曜日、国民の祝日・年末年始等(12月27日～1月3日)

[施 設]

・鉄筋2階建

(昭和45年2月竣工, 平成26年3月改修)

・延床面積

閲覧スペース

サービススペース

収蔵スペース

事務室等

その他

795㎡

176㎡

137㎡

280㎡

34㎡

168㎡

・総座席数

127席

・収容可能冊数

63,500冊

1 階

閲覧席

カウンター

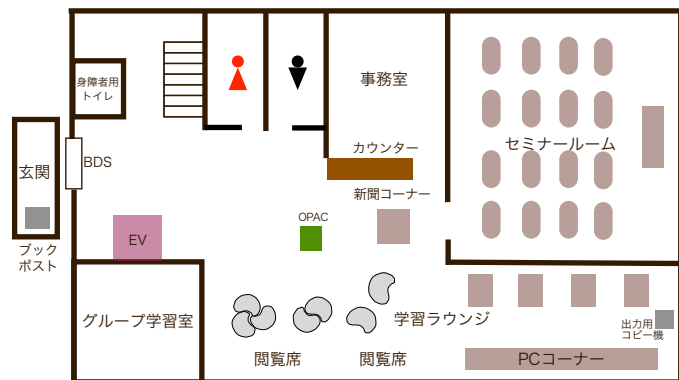
セミナールーム

学習ラウンジ

グループ学習室

パソコン端末コーナー

新聞コーナー

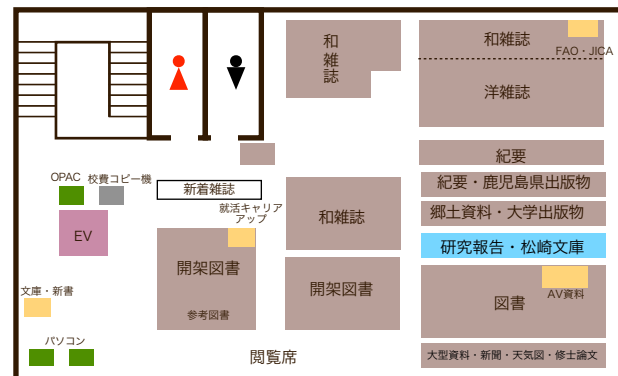


2 階

閲覧席

開架図書、参考図書、和雑誌、洋雑誌、文庫・新書、紀要
鹿児島県出版物、郷土資料、大学出版物、大型資料、新聞、
天気図、修士論文、研究報告、松崎文庫、AV資料

パソコン端末コーナー



閲覧スペース



セミナールーム

学術情報ネットワークやキャンパス情報ネットワークの整備が進み、附属図書館もネットワークを介した高度な情報提供サービスの強化・充実に努めている。

業務システムの自動化はもとより、利用者に対しては、インターネットを通じた各種サービスを提供している。

●業務電算化の開始

◆昭和53年3月、日本電気ACOS-200を導入し、業務電算化を開始した。対象業務は中央図書館の受入業務(図書・雑誌の発注、受入、支払・予算管理等)及び運用業務(貸出・返却・予約等)とし、目録業務を除く図書館業務のトータルシステム化を実現した。

●第二期業務電算化：OPACサービス開始

◆昭和63年4月、図書館システムは情報処理センターのコンピュータシステム(IBM3081-K32)の一環としてIBMの図書館業務システムDOBIS/Eをベースに鹿児島大学図書館システムKINDを開発した。これは単に図書館業務のトータルシステム化を目指しただけでなく、利用者サービスの拡大を目標とした。情報処理センターのコンピュータ資源を共用することにより、キャンパス情報ネットワークを利用したOPAC(本学蔵書検索)、電子掲示板、利用案内、学外資料申込、貸出予約、電子メール等の先進的な情報サービスを実現した。

◆平成4年12月、情報処理センターのホスト・コンピュータはIBM3090/18Sに更新され、KINDもハード・ソフト面で強化された。同時にネットワーク環境も整備され、インターネット接続が可能となり、国内外の図書館や学術機関から情報を得ることが可能になった。

●第三期業務電算化：クライアント・サーバ型システム

◆平成8年1月、総合情報処理センターのシステムはUNIX-ワークステーションによるクライアント・サーバ型の機種に更新され、図書館システムは、UNIXサーバによる富士通ILIS/X-WRが導入された。

◆平成12年3月、総合情報処理センターの電算システム更新に伴い、図書館システムは、WindowsNTサーバによるNTTデータのNALISが導入され、業務の一層の自動化が実現された。また、利用者端末は、これまでの20台から35台に増強され、端末自体の保全とネットワーク利用でのセキュリティが強化された。

◆平成17年2月、図書館業務システムを更新し多言語対応の性能を強化した。これにより蔵書検索システムにおける中国語書誌、韓国語書誌のデータへの対応を実現した。また、オンラインでの研究用図書(教員)申込サービスを開始した。

◆平成21年3月、図書館業務システムの更新に伴い、Mylibraryサービスを導入し、文献複写依頼等のオンラインサービスの充実を図った。

●キャンパス情報ネットワーク利用による文献情報検索サービス開始

◆平成6年8月、桜ヶ丘分館に文献情報検索システム(OPTI-NET)を導入し、キャンパス情報ネットワークを利用したMEDLINE及び医学中央雑誌のサービスを開始した。

◆平成7年3月、中央図書館に文献情報検索システム(Silver Platter社、ERL：Electronic Reference Library)を導入し、MEDLINE、AGRICOLA等のデータベースのサービスを始めた。

◆平成9年2月、中央図書館に文献情報検索システム(ERL)を増設し、図書館ホームページからの文献情報検索サービスを開始した。新たにCurrent Contents、Life Science/Clinical Medicineのサービスを始めた。

◆平成10年11月、WindowsNTサーバによる文献情報検索システムを導入し、図書館ホームページからの医学中央雑誌、雑誌記事索引等の検索サービスを始めた。

◆平成14年10月、Web of Science(引用文献索引データベース)を導入し、提供を開始した。

◆平成14年5月、法律情報データベース
(LEX/DB Internet)

平成17年1月、LexisNexis Academic
(欧文総合データベース)

4月、新聞記事データベース(朝日)

平成18年4月、新聞記事データベース(南日本)

平成22年1月、ジャパンナレッジ・プラスを導入し、提供を開始した。

◆平成24年3月、Web of Science(引用文献索引データベース)のバックファイル10年分の整備を行った。

◆平成29年4月、Westlaw Next, Westlaw Japanを導入し、提供を開始した。

◆平成30年4月、Scopus(抄録・引用文献データベース)、新聞記事データベース(毎日新聞)を導入し、提供を開始した。

●電子図書館システムの導入

◆平成13年3月、電子的情報の収集・検索システム(電子図書館システム)を導入した。当システムは、平成12年度補正予算により全国10大学に措置されたものである。これにより、本学の電子図書館機能の利用環境は飛躍的に整備された。本学で導入したシステムの構成は以下のとおりである。

1.電子化情報データベースシステム

3. デジタルライブラリーシステム (図書館向CD-ROM(DVD-ROM)視聴設備)
4. 文献画像伝送システム(Epicwin7000導入)
5. 利用者用公開端末(20台)

● 第四期業務電算化：WEBシステム

◆平成29年3月、図書館業務システムの更新を行い、クライアント・サーバ型から、サーバ機器をクラウドに置いたWEBシステムに移行するとともに、認証システムに学認（GakuNin）を導入し、運用コストの効率化と経費削減を図った。

● ジャーナルサービスの導入と機能強化

◆平成11年3月から電子ジャーナルの収集と提供を開始し、平成14年1月に、複数の大学図書館等からなる電子ジャーナルコンソーシアム契約に拠る電子ジャーナルサービスを導入した。

◆平成17年6月、従来の電子ジャーナルサービスの機能を強化し、収録タイトル数の大幅な増強とOpenURLによる文献情報データベースとのリンクサービスを開始した。

◆平成23年3月、平成24年3月、Elsevier社のScienceDirect、SpringerLinkのバックファイルの整備を行った。

● 電子書籍サービスの導入

◆平成21年度以降、NetLibrary（EBSCO）、Maruzen eBook Library（丸善雄松堂）等で購入し、平成31年4月現在、総計8,273点の電子書籍サービスを行っている。

● 鹿児島県学術共同リポジトリ（KARN）

◆鹿児島県内の大学・高等専門学校等7機関が共同して教育・研究等の成果物や所蔵している貴重書等をインターネットを使って社会に公開・発信するシステム「鹿児島県学術共同リポジトリ」

（愛称KARN：Kagoshima Academic Repository Network）を構築し、平成24年3月から運用を開始した。

◆平成29年3月、参加機関のリポジトリコンテンツを国立情報学研究所が運営するJAIRO Cloudに移行した。

● 鹿児島大学リポジトリ

◆国立情報学研究所の平成18年度委託事業により鹿児島大学研究者の教育・研究成果を社会に広く公開することを目的として構築。管理システムはNALIS-Rを採用し、平成19年4月より運用を開始した。

◆平成29年3月より管理システムを国立情報学研究所が運営するJAIRO Cloudに移行。デザイン等を一部変更するとともに機能強化を行った。

● 図書館ホームページ

◆平成8年1月、図書館ホームページを開設し、本学蔵書検索、利用案内等の情報発信を実現した。また、平成25年度よりTwitterを利用した情報提供も行っている。

◆平成13年12月、携帯電話対応版ホームページを開設した。

◆平成17年、WEBの管理システムソフトウェアCMS（コンテンツマネジメントシステム）

「Xoops」を導入し、管理運用面が大幅に改善された。

◆平成24年4月、CMS（コンテンツマネジメントシステム）「MovableType」を導入し、バージョンアップを図るとともに、ホームページを視覚的に見やすいデザインにリニューアルした。

◆平成29年3月、Drupalをベースとしたシステムに更新し、レスポンスウェブデザインとすることで、スマートフォンからのアクセスに対して利便性の向上を図った。

● 次世代情報サービスの導入

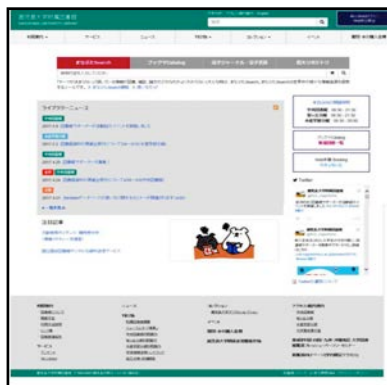
◆平成25年3月、図書館業務システムの更新に伴い、次世代型蔵書検索システム（本館での愛称：ブックマCatalog）を導入するとともに、ディスカバリーサービス（本館での愛称：まなぶたSearch）とのデータ連携を実現し、学術情報サービスの充実を図った。

◆平成26年7月、ディスカバリーサービスSummonをバージョンアップし機能向上を図るとともに、コンテンツの充実を行った。



附属図書館ホームページ (https://www.lib.kagoshima-u.ac.jp/)

平成8年1月、図書館ホームページを開設し、OPAC(本学蔵書検索)、利用案内等の情報発信を実現した。現在は文献データベース、電子ジャーナル、電子化された貴重資料等も提供している。この他オンラインによる文献複写サービス、図書の貸出予約サービス、取寄せサービス（学内の他のキャンパスの図書を取り寄せる）を提供している。また、Twitterを利用して情報提供をしている。



スマートフォン版



電子的学術情報資源の整備

●文献データベース

名 称	分 野	収録期間	アクセス数
Scopus	総合	1800-	無制限
LEX/DBインターネット	法律情報	****	10
Westlaw Next	法律情報	****	無制限
Westlaw Japan	法律情報	****	100
医中誌Web	医学	1959-	13
CiNii	総合	****	無制限
聞蔵II ビジュアル	朝日新聞	1985-	1
南日本新聞データベース	南日本新聞	1995-	2
毎索	毎日新聞	1987-	1
ジャパンナレッジLib	事典・辞書群	****	2

●電子ジャーナル

名 称	出版社等	タイトル数
ScienceDirect	Elsevier	2,311
Wiley Online Library	Wiley	1,490
SpringerLink	SpringerNature	1,600
Nature	SpringerNature	1
Science	American Assoc. Adv.	1

●電子ブック

名 称	出版社等	タイトル数
NetLibrary	EBSCO	1,047
Maruzen eBook Library	丸善雄松堂	599
Springer eBook Collection	SpringerNature	6,195
Wiley Online Library	Wiley	353
ProQuest Ebook	ProQuest	79

特殊コレクション・貴重資料等の電子化

●鹿児島大学デジタルコレクション

附属図書館で所蔵している古書籍の目録、楽譜資料の画像・音声データ、学内で作成された文献目録を学外に向けて、平成13年3月に「電子化情報提供システム」として公開した。平成21年よりリポジトリシステム上で「古典籍デジタルアーカイブ」としてコンテンツを公開していたが、平成29年2月に新規にデジタル・アーカイブシステムを構築しデザインや検索機能を一新して「鹿児島大学デジタルコレクション」として公開した。



[貴重書検索]

以下の古書籍についての所蔵目録データベース。

- ・玉里文庫： 島津久光及び玉里島津家の旧蔵書（18,730冊）＊一部書籍については原本画像あり
- ・岩元文庫： 旧制第一高等学校教授であった岩元禎氏の旧蔵書（漢籍4,515冊 洋書826冊）
- ・松本文庫： 旧制第八高等学校漢文学教授であった松本亦一氏の旧蔵書（2,186冊）
- ・エルスト・ブッチェル作品集：昭和40年に、著作権譲渡とあわせて鹿児島大学附属図書館へ寄贈された、鹿児島の音楽家エルスト・ブッチェル先生の作品の楽譜や楽曲（155点）

●奄美古文書所在目録データベース



鹿児島県歴史資料センター黎明館が平成14～16年度に実施した奄美群島歴史資料確認調査の結果を鹿児島大学附属図書館が平成18年度にデータベース化した。奄美地方の各機関に所蔵されている古文書類の所在情報、約8,000件を収録している。

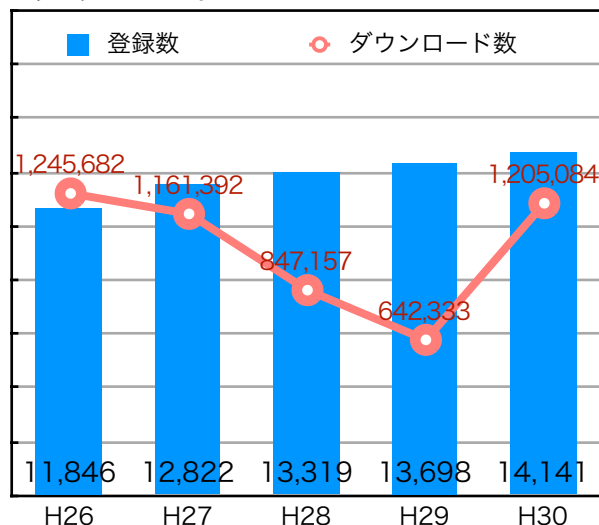
[おもな所在情報収録資料]

- 琉球王府時代資料
 - ・琉球王府辞令書（ノ口辞令、役人辞令）
- 薩摩藩時代資料
 - ・大島代官記
 - ・沖永良部島代官系図
- 米国軍政期資料
 - ・米国軍政府布告集

鹿児島大学リポジトリ (<https://ir.kagoshima-u.ac.jp/>)

鹿児島大学では、学内の教員によって生み出された学術論文等を電子資料として登録・保存し、インターネットで無償公開する機関リポジトリを平成19年4月から運用している。

大学の社会的責務である研究成果の社会への還元や教育・研究活動の説明責任を進める一環として、積極的に取り組んでいる。



回	テーマ	開催日	開催場所
第1回 (平成11年度)	薩摩の文化遺産 玉里文庫展	平成11年11月4日～10日	中央図書館
	■ 記念講演会 演題・講師		
	『玉里文庫の諸相－洋学から江戸文化まで－』 中山 右尚 (教育学部教授)	平成11年11月6日	中央図書館
	『玉里文庫にみる大名文化と島津久光』 原口 泉 (法文学部教授)	平成11年11月7日	中央図書館
第2回 (平成12年度)	江戸のまなざし 薩摩の名所図会展	平成12年11月4日～9日	中央図書館
	■ 記念講演会 演題・講師		
	『玉里文庫の名所図会』 丹羽 謙治 (法文学部助教授)	平成12年11月4日	中央図書館
	『三国名勝図会と新鹿児島百景』 原口 泉 (法文学部教授)	平成12年11月5日	中央図書館
	薩摩の文化遺産 玉里文庫展	平成12年11月17日～19日	鹿児島県立図書館奄美分館
	■ 記念講演会 演題・講師		
	『玉里文庫の諸相－洋学から江戸文化まで－』 中山 右尚 (教育学部教授)	平成12年11月19日	鹿児島県立大島高等学校和親館
	『玉里文庫と奄美資料』 原口 泉 (法文学部教授)	平成12年11月9日	
第3回 (平成13年度)	江戸の趣味生活 薩摩の大名文化 重豪の時代展	平成13年10月24日～30日 平成13年11月8日～11日	中央図書館 川内市歴史資料館
	■ 記念講演会 演題・講師		
	『薩摩の植物図譜－「質問本草」について－』 高津 孝 (法文学部教授)	平成13年10月28日	中央図書館
	『重豪時代の学藝－新出資料をめぐって－』 丹羽 謙治 (法文学部助教授)	平成13年10月28日	中央図書館
	『島津重豪の生活文化－薩摩のハイカラ事情－』 原口 泉 (法文学部教授)	平成13年11月11日	川内市歴史資料館
	『新田神社文書について』 日隈 正守 (教育学部助教授)	平成13年11月11日	川内市歴史資料館
第4回 (平成14年度)	玉里文庫の絵図・地図展 －絵図に見る幕末日本－	平成14年10月24日～27日 平成14年10月2日～4日	中央図書館 国分市シビックセンター
	■ 記念講演会 演題・講師		
	『江戸の滑稽絵本 －悦鼻眞蝦夷押領の世界－』 中山 右尚 (教育学部教授)	平成14年10月27日	中央図書館
	『地図あれこれ』 塚田 公彦 (教育学部教授)	平成14年10月27日	中央図書館
	『絵図の中の幕末日本』 原口 泉 (法文学部教授)	平成14年11月4日	国分市シビックセンター
	『大隅国正八幡宮に関する一考察』 日隈 正守 (教育学部助教授)	平成14年11月4日	国分市シビックセンター
第5回 (平成15年度)	産業考古学と斉彬の時代	平成15年11月5日～9日 平成15年11月21日～28日	中央図書館 加世田市民会館
	■ 記念講演会 演題・講師		
	『幕末から明治初期の薩摩焼』 渡辺 芳郎 (法文学部助教授)	平成15年11月9日	中央図書館
	『集成館事業を読み解く －産業考古学の視点から－』 長谷川 雅康 (教育学部教授)	平成15年11月9日	中央図書館
	『新田八幡宮の阿多郡支配について』 日隈 正守 (教育学部助教授)	平成15年11月23日	加世田市民会館
	『いろは歌の歴史世界 一歩く道・学ぶ道－』 原口 泉 (法文学部教授)	平成15年11月23日	加世田市民会館

回	テーマ	開催日	開催場所
第6回 (平成16年度)	絵本を旅するー江戸絵入り本の世界ー	平成16年11月17日～21日 平成16年12月3日～5日	中央図書館 出水市中央公民館
	■ 記念講演会 演題・講師 『興入れ道具としてのやまと絵』 下原 美保 (教育学部助教授) 『子ども観が絵本の誕生に与えた影響ー日本とイギリスを比較するー』 小谷 裕幸 (法文学部教授) 『出水郷土の読書と芸能』 丹羽 謙治 (法文学部助教授) 『世界史の中の出水ー天保改革から維新へー』 原口 泉 (法文学部教授)	平成16年11月21日 中央図書館 平成16年11月21日 中央図書館 平成16年12月5日 出水市中央公民館 平成16年12月5日 出水市中央公民館	
第7回 (平成17年度)	海が運んだ中世がごしまー陶磁器・中国銭・書籍が語る東アジア文明ー	平成17年11月2日～6日 平成17年11月18日～20日	中央図書館 志布志町文化会館
	■ 記念講演会 演題・講師 『中世東アジアにおける銭貨流通』 大田 由紀夫 (法文学部助教授) 『南九州と中世・近世文学』 丹羽 謙治 (法文学部助教授) 『島津荘と日宋貿易ー志布志・隼人・金峰町域を中心にー』 日隈 正守 (教育学部助教授) 『志布志大慈寺と京都・中国』 原口 泉 (法文学部教授)	平成17年11月6日 中央図書館 平成17年11月6日 中央図書館 平成17年11月20日 志布志町文化会館 平成17年11月20日 志布志町文化会館	
第8回 (平成18年度)	描かれた自然ー江戸の植物図ー	平成18年10月18日～22日 平成18年11月17日～19日	中央図書館 指宿市考古博物館
	■ 記念講演会 演題・講師 『狂歌絵本と植物画など』 中山 右尚 (教育学部教授) 『近世の花鳥画について』 下原 美保 (教育学部助教授) 『質問本草の植物をめぐって』 堀田 満 (本学名誉教授) 『島津斉彬の植物研究と天璋院篤姫』 原口 泉 (法文学部教授)	平成18年10月22日 中央図書館 平成18年10月22日 中央図書館 平成18年11月19日 指宿市考古博物館 平成18年11月19日 指宿市考古博物館	
第9回 (平成19年度)	没後120年 島津久光ー玩古道人の実像ー	平成19年10月17日～21日 平成19年11月9日～23日	中央図書館 始良町歴史民俗資料館
	■ 記念講演会 演題・講師 『島津久光 人と学問』 丹羽 謙治 (法文学部准教授) 『島津久光と篤姫ー時代をまたいだ殿と姫ー』 原口 泉 (法文学部教授) 『篤姫の結婚-幕末維新の伏流水-』 寺尾 美保 (尚古集成館学芸員) 『島津久光 人と学問』 丹羽 謙治 (法文学部准教授)	平成19年10月21日 中央図書館 平成19年10月21日 中央図書館 平成19年11月23日 始良町中央公民館 平成19年11月23日 始良町中央公民館	
第10回 (平成20年度)	薩摩の女性文化ー姫君たちの雅(みやび)・暮らしー	平成20年11月11日～16日 平成20年11月28日～30日	中央図書館 垂水市市民館
	■ 記念講演会 演題・講師 『くらしの中の伊勢物語』 下原 美保 (教育学部准教授) 『島津家の女性たち』 丹羽 謙治 (法文学部准教授) 『近衛家からみた島津氏』 金井 静香 (法文学部准教授) 『「源氏物語」と姫君教育・文化』 中島 あや子 (法文学部教授)	平成20年11月16日 中央図書館 平成20年11月16日 中央図書館 平成20年11月30日 垂水市市民館 平成20年11月30日 垂水市市民館	

回	テーマ	開催日	開催場所
第11回 (平成21～22年度)	鹿児島大学附属図書館・鹿児島県歴史資料センター黎明館合同企画展 薩摩藩「玉里邸」とその文化	平成22年2月16日～5月9日	鹿児島県歴史資料センター黎明館
	■ 解説講座 演題・講師 『玉里島津家の人々と玉里島津家資料』 新福 大健（黎明館学芸専門員） 『玉里島津家の近代 ー「島津田鶴子日記」よりー』 丹羽 謙治（法文学部教授）	平成22年3月6日 平成22年4月17日	鹿児島県歴史資料センター黎明館 鹿児島県歴史資料センター黎明館
第12回 (平成22年度)	鹿児島大学附属図書館・坊津歴史資料センター輝津館合同企画展「海を駆けるー東アジア世界の海域交流、その光と陰く薩摩、琉球、明・清>ー」	平成22年11月6日～11月28日 平成22年12月3日～12月19日	坊津歴史資料センター輝津館 中央図書館
	■ 解説講座 演題・講師 『モノから見た薩摩・坊津の対外交流史 ー貿易陶磁を中心にー』 橋口 亘（輝津館学芸員） 『東アジア世界の海域交流』 徳永 和喜（黎明館学芸課長）	平成22年12月5日 平成22年12月5日	中央図書館 中央図書館
第13回 (平成23年度)	明治の浮世絵師と西南戦争	平成23年11月19日～12月4日	中央図書館
	■ 解説講座 演題・講師 『躍動する英傑たちー西南戦争錦絵の魅力ー』 山西 健夫（鹿児島市立美術館学芸係長） 『城下土坂本父子の西南戦争』 塩満 郁夫（志学館大学非常勤講師）	平成23年11月27日 平成23年11月27日	中央図書館 中央図書館
第14回 (平成24年度)	鹿児島市立美術館・鹿児島大学附属図書館合同企画展「木脇啓四郎描くー幕末・明治の薩摩藩文化官僚の画業」	平成25年2月13日～3月31日	鹿児島市立美術館 2階企画展示室
	■ 学芸講座 演題・講師 『木脇啓四郎 人と業績』 丹羽 謙治（鹿児島大学法文学部教授） 『薩摩画壇と木脇啓四郎』 山西 健夫（鹿児島市立美術館学芸係）	平成25年3月10日 平成25年3月10日	鹿児島市立美術館 地下会議室 鹿児島市立美術館 地下会議室
第15回 (平成25年度)	島津氏と近衛家の七百年	平成25年12月9日～12月22日	中央図書館
	文治元年（1185）に惟宗（島津）忠久が鎌倉幕府より島津荘の下司職に任命されて以来、島津氏と島津荘の本家であった近衛家とは、時に対立しながらも、いつしか深い縁で結ばれていきました。中世から近代まで700年以上にわたって続いた島津氏と近衛家との絆を、玉里文庫や志々目家文書、木脇家文書等、当館所蔵の資料を通して概観します。		

回	テーマ	開催日	開催場所
第16回 (平成26年度)	鹿児島大学附属図書館・ミュージアム知覧共同企画展『木村探元と武家のたしなみ』	平成26年12月19日～平成27年3月15日	ミュージアム知覧
	■ 解説講座 演題・講師 『江戸狩野と木村探元』 下原 美保（教育学部教授）	平成27年1月10日	ミュージアム知覧
第17回 (平成27年度)	鹿児島大学附属図書館貴重書公開『旧制鹿児島高等農林学校の底力』	平成27年11月19日～12月10日	中央図書館
	■ 解説講座 演題・講師 『文献資料から見る鹿児島高等農林学校』 丹羽 謙治（鹿児島大学法文教育学域教授）	平成27年11月29日	中央図書館
第18回 (平成28年度)	鹿児島大学附属図書館貴重書公開『玉里文庫善本展—国文学・薩摩・近衛家・蘭学・琉球—』	平成28年9月9日～10月13日	中央図書館
	■ 解説講座 演題・講師 『玉里文庫の諸相—蔵書構成と歴史—』 丹羽 謙治（鹿児島大学法文教育学域教授） 『有島父子と農業』 石田 忠彦（鹿児島大学名誉教授）	平成28年9月10日 平成28年9月10日	教育学部第一講義棟 教育学部第一講義棟
第19回 (平成29年度)	鹿児島大学附属図書館貴重書公開『女性たちの明治維新』	平成29年11月2日～26日	中央図書館
	■ 解説講座 演題・講師 『女性たちの幕末維新』 大石 学（東京学芸大学教授）	平成29年11月26日	農・獣医共通棟
第20回 (平成30年度)	鹿児島大学附属図書館貴重書公開『鹿児島 書物と図書館の近代—〈知〉の集積と展開—』	平成30年11月7日～12月5日	中央図書館
	■ 解説講座 演題・講師 『〈書物〉と〈人〉から見る近代鹿児島図書館史』 丹羽 謙治（鹿児島大学法文教育学域教授）	平成30年11月23日	中央図書館 ラーニングcommons

● 利用環境の整備・充実

1. 前期末・後期末試験に伴う一般（学外）利用者の中央図書館利用制限（7月26日～8月8日、1月28日～2月8日）
2. 試験期間における開館時間延長
中央図書館：7月26日～8月8日、1月28日～2月8日
水産学部分館：7月28日～29日、8月4日～5日、2月2日～3日

● 企画展の開催

1. 中央図書館：新入生のためのブックガイド2018（4月9日～4月27日）
2. 中央図書館：2018附属図書館＆男女共同参画推進センター連携企画「男女共同参画展」（6月15日～8月6日）
3. 中央図書館：共通教育後期授業「男女共同参画社会」授業支援企画・図書館テーマ展示（10月10日～12月21日）
4. 中央図書館：貴重書公開「鹿児島 書物と図書館の近代―〈知〉の集積と展開―」（11月7日～12月5日）

● 講習会・ガイダンス等の開催

1. 情報活用セミナー（7月26日）
2. 文献管理ツールセミナー（7月27日）
3. 分野別情報活用セミナー（8月8日）
4. Scival・Scopus研究戦略セミナー（10月17日）
5. ゼミ対象ガイダンス（4～5月、8月23日、10月24日、11月1日、12月20日）

● 講師派遣

1. Japan Open Science Summit 2018講師（6月18日）
2. 平成30年度九州地区目録講習会講師（9月6日～7日）

● 実習生の受入

1. 職場体験学習

・ 鹿児島市立紫原中学校	3名
（5月22日～24日）	
・ 鹿児島市立鴨池中学校	3名
（9月5日～7日）	
・ 鹿児島大学教育学部附属中学校	3名
（10月30日～31日）	
2. インターンシップ

・ 筑波大学	1名
（9月10日～25日）	

● 図書館職員研修

研修・出張報告会（2月25日）

● 広報・出版

1. 南風77号（5月）、78号（3月）
2. 鹿大生のための図書館・学術情報活用ハンドブック（2018年版）（4月）
3. 図書館概要2018（6月）
4. 図書館利用案内2019 中央図書館、桜ヶ丘分館、水産学部分館（3月）

● 図書館サポーター活動

1. 図書館サポーター募集（4月11日～5月11日）
2. キックオフミーティング（5月16日）
3. まなぶた通信No.6（5月）、No.7（7月）、No.8（10月）発行
4. オープンキャンパス図書館案内（8月4日）
5. 第8回大学図書館学生協働交流シンポジウム（9月6日～7日）
6. 「知的書評合戦ビブリオバトル」予選会・地区決戦（予選会10月24日、28日、11月21日、地区決戦11月24日）
7. 「図書館セレクションー本の福袋ー」（1月28日～）

● その他

1. 学生選書ツアー（6月6日）
2. 館長懇談会（6月20日）
3. ラーコモデザイン総選挙（7月10日～31日）
4. オープンキャンパス2018
中央図書館、水産学部分館（8月4日、5日）
桜ヶ丘分館（8月2日、3日、8日）
5. 中央図書館防災訓練（12月7日）

- 昭和 24. 5 国立学校設置法の公布により、第七高等学校、鹿児島師範学校、鹿児島青年師範学校、鹿児島農林専門学校、鹿児島水産専門学校を母体として、鹿児島大学（文理学部、教育学部、農学部、水産学部）設置、附属図書館設置
24. 7 文理学部・一般教養部分館、教育学部分館、農学部分館、水産学部分館設置
25. 1 「鹿児島大学附属図書館規程」制定
26. 1 「玉里文庫」を島津家（玉里）から購入
27. 4 文理学部・一般教養部分館の閲覧室・書庫等類焼（焼失図書37,771冊）
28. 5 文理学部・一般教養部分館が鴨池町に新築された文理学部文科研究棟1階に移転
28. 6 附属図書館（本館）が鴨池町の文理学部文科研究棟3階に移転
- 28.11 「鹿児島大学附属図書館長選考規程」制定
30. 7 鹿児島県立大学の鹿児島大学への統合に際し、「岩元文庫」を鹿児島県から受贈
32. 2 鹿児島県立大学医学部が山下町の旧七高跡に新築移転したのに伴い、図書館は管理棟1階に移転
33. 5 工学部分館、医学部分館設置
34. 5 工学部分館が鴨池町に新築された工学部管理棟1階に移転
36. 4 教育学部分館が鴨池町に新築された教育学部文理科実験研究棟1階に移転
37. 7 「鹿児島大学附属図書館閲覧規程」制定
39. 1 事務長制設置
40. 3 中央図書館（地上3階建、3,512㎡）竣工
40. 4 文理学部、教育学部、工学部、農学部の各分館は中央図書館に統合（事務組織）事務長－総務係、整理係、受入係、学術情報係、閲覧係、医学部分館図書係、水産学部分館図書係
40. 5 中央図書館開館
「鹿児島大学附属図書館規程」全部改正「鹿児島大学附属図書館運営委員会規程」、「鹿児島大学附属図書館事務分掌規程」制定
40. 9 「鹿児島大学附属図書館長候補者推薦規程」、「鹿児島大学附属図書館長候補者選挙管理規程」、「鹿児島大学附属図書館分館長選考規程」、「鹿児島大学附属図書館古文書古書等評価委員会規程」制定
41. 4 「図書館利用案内」発行開始
- 41.12 「鹿大図書館情報」創刊
43. 6 「鹿児島大学附属図書館文献複写規程」制定
45. 2 水産学部分館新館（地上2階建、849㎡）竣工
47. 3 中央図書館オーディオ室にステレオ装置完成
- 47.12 中央図書館に冷暖房設備完成
49. 4 事務部制（1部2課）設置
事務部長
整理課：総務係、整理係、受入係、医学部分館図書係、水産学部分館図書係
閲覧課：運用係、学術情報係
49. 8 「鹿児島大学附属図書館事務分掌細則」制定
医学部及び附属病院の宇宿町亀ヶ原への新築移転に伴い、医学部分館移転
51. 4 中央図書館に参考係新設
整理課：総務係、整理係、受入係、医学部分館図書係、水産学部分館図書係
閲覧課：運用係、参考係、雑誌係
「附属図書館概要」発行開始
52. 4 医学部分館新館（地上2階建、1,380㎡）竣工
52. 7 自然科学系外国雑誌購入費二種の配分を受け農学系外国雑誌センター発足
53. 7 「鹿児島大学図書館報」創刊（平成5. 3「南風：鹿児島大学図書館報」に誌名変更）
- 53.11 中央図書館業務電算化開始（日本電気製NEACシステム200）
54. 4 歯学部設置に伴い医学部分館は医学部及び歯学部のための分館となり、宇宿分館と改称
54. 5 「鹿児島大学附属図書館規則」全部改正
55. 1 「鹿児島大学附属図書館利用規則」、「鹿児島大学附属図書館貴重書に関する規則」、「鹿児島大学附属図書館中央図書館利用規則」制定

- 昭和 55. 4 「鹿児島大学附属図書館水産学部分館利用細則」制定
JOIS（日本科学技術情報センターオンライン情報検索システム）による情報検索サービス開始（中央図書館、宇宿分館）
55. 5 「鹿児島大学附属図書館宇宿分館利用細則」制定
56. 5 宇宿分館で3階部分600㎡を増築（地上3階建、1,980㎡）
57. 7 中央図書館において係再編成、宇宿分館に閲覧係新設
整理課：総務係、受入係、目録係、宇宿分館整理係、水産学部分館図書係
閲覧課：運用係、学術情報係、相互利用係、宇宿分館閲覧係
- 58.11 DIALOG(DIALOG社のオンライン情報検索システム)による情報検索サービス開始（中央図書館、宇宿分館）
59. 2 整理課に図書館専門員配置
63. 4 情報処理センターの電子計算機システム（IBM3081）の一環として図書館業務システム（KIND）開発
課名変更 整理課→情報管理課、閲覧課→情報サービス課
63. 5 「鹿児島大学附属図書館学外者利用内規」制定
- 63.10 学術情報センターと接続し、目録登録開始
- 平成 元. 4 業務システムに合わせて係再編成及び名称変更
情報管理課：総務係、和書係、洋書係、宇宿分館管理係、水産学部分館図書係
情報サービス課：第一資料サービス係、参考調査係、逐次刊行物係、宇宿分館第二資料サービス係
2. 3 外国雑誌センター雑誌を農学部図書室から中央図書館に移動
2. 4 中央図書館に高速ファクシミリ導入
- 2.12 宇宿分館に「MEDLINE（CD-ROM版）」導入
3. 3 医療技術短期大学部図書室を宇宿分館に統合
4. 2 宇宿分館に「医学中央雑誌（CD-ROM版）」導入
4. 4 住居表示変更に伴い宇宿分館を桜ヶ丘分館と改称
学術情報センターILLシステムによる相互利用サービス開始
4. 5 土曜閉庁により土曜日休館
4. 7 土曜開館（午前10時～午後5時）開始
5. 2 図書館業務電算化経費の配分を受け情報処理センターとの共用機導入（IBM3090/18S）
- 5.10 新中央図書館第一期工事着工
6. 3 「附属図書館自己点検・評価報告書」発行
桜ヶ丘分館に電動式集密書架設置
6. 4 「水産学部分館運営委員会規則」制定
6. 8 桜ヶ丘分館に文献情報検索システム（Opti-Net）を導入、学内LAN上で「MEDLINE」「医学中央雑誌」の提供開始
6. 9 新中央図書館第一期工事（地上5階・地下1階建、4,170㎡）竣工
7. 3 新中央図書館第一期工事部分開館
中央図書館にブックディテクション／システム（BDS）導入
中央図書館に文献情報検索システム（ERL）導入、「MEDLINE」等の提供開始
蔵書計画専門委員会が「図書館資料の整備について」を附属図書館運営委員会に報告
7. 4 課再編成
情報管理課：総務係、和書係、洋書係、逐次刊行物係、桜ヶ丘分館管理係
情報サービス課：第一資料サービス係、参考調査係、桜ヶ丘分館第二資料サービス係、水産学部分館図書係
7. 8 遡及入力開始
- 7.10 新中央図書館第二期工事着工
文献電送システム（Ariel）導入
8. 2 総合情報処理センターの電子計算機システム更新に伴い、図書館業務システムを富士通製ILLIS/WRに更新
附属図書館WWWホームページ開設
8. 3 カラー複写機設置（中央図書館、桜ヶ丘分館）
8. 9 桜ヶ丘分館で日曜開館（午後0時～5時）開始
- 8.12 新中央図書館第二期工事（地上5階・地下2階建、8,516㎡）竣工
9. 1 玉里文庫：琉球関係資料（18点）を電子化

- 平成 9. 3 文献情報検索システム（ERL）を増設、「Current Contents」の提供開始
WWWホームページ上から文献情報検索サービス開始
「附属図書館利用規則」及び3館の「利用細則」全部改正
農学部図書室資料を中央図書館に移動、職員1名を中央図書館に配置
9. 4 新中央図書館全面開館
桜ヶ丘分館にブックディテクション・システム（BDS）導入
9. 9 中央図書館において日曜開館（午前10時～午後5時）開始
10. 3 玉里文庫：薩摩藩関係資料(146点)を電子化
10. 4 係再編成および係の名称変更
情報管理課：総務係、資料受入係、目録情報係、情報システム係、桜ヶ丘分館管理係
情報サービス課：資料サービス係、参考調査係、桜ヶ丘分館情報サービス係、水産学部分館図書係
10. 6 本学を当番館として第45回国立大学図書館協議会総会開催（会場：鹿児島市民文化ホール）
10. 8 中央図書館地下に電動式集密書架完備（平成8年度より3年計画）
- 10.11 文献情報検索システム（CD-Intranet）を導入、ホームページ上から「医学中央雑誌」、「雑誌記事索引」の提供開始
- 10.12 「鹿児島大学附属図書館図書貴重書管理委員会設置要項」制定
11. 3 「鹿児島大学附属図書館学外者利用内規」改正
「利用者の評価に対する課題と対応（行動計画）ー 附属図書館自己点検・評価報告」発行
玉里文庫：国書及び絵図関係資料(76点)を電子化
11. 4 学外者への館外貸出開始（中央図書館）
12. 2 水産学部分館1階改修
12. 3 総合情報処理センター電子計算機システム更新に伴い、図書館業務システムをNTTデータ製NALISに更新
「中央図書館資料選定委員会要項」制定
玉里文庫：洋学関係資料(137点)を電子化
貴重書目録データベースの検索システム稼働
13. 3 電子図書館システム（電子的情報の収集・検索システム）導入
報告書「図書館資料の整備について」作成
玉里文庫：有職故実関係資料(217点)を電子化
13. 4 桜ヶ丘分館開館時間の延長実施（平日午前9時～午後9時、土・日午前10時～午後5時）
- 13.12 携帯電話対応版ホームページ開設
14. 1 電子ジャーナル・サービス開始
14. 4 「附属図書館利用規則」及び中央図書館及び2分館の「利用細則」一部改正
桜ヶ丘分館 土・日曜日開館時間の延長実施（午前10時～午後6時）
- 14.10 引用文献索引データベース（Web of Science）導入
16. 3 図書台帳データベース作成
16. 4 国立大学法人化に伴う諸規則改正
係等の名称変更：情報管理課図書館専門員を情報管理課長代理、目録情報係を学術コンテンツ係、情報システム係を情報基盤係に変更
学外者への館外貸出開始（水産学部分館）
「鹿児島大学附属図書館図書管理指針」制定
- 16.11 「鹿児島大学附属図書館貴重書取扱規則」制定
- 16.12 「鹿児島大学附属図書館自己評価委員会規則」制定
17. 2 中央図書館に図書自動貸出装置を導入
水産学部分館にブックディテクション・システム（BDS）導入
17. 4 電子ジャーナル・文献情報データベース維持費を基盤経費化(部局分担方式)
情報リテラシー支援室を設置
17. 8 鹿児島県歴史資料センター黎明館と連携協力に関する協定を締結
18. 4 情報管理課に経理係を設置
18. 9 「鹿児島大学附属図書館の理念」作成
「鹿児島大学附属図書館印刷サービス規則」制定

- 平成 19. 4 鹿児島大学リポジトリの構築および部分公開開始
「附属図書館自己点検・評価報告書」公開
附属図書館事務部を学術情報部に改編し、情報リテラシー係を設置
情報管理課：総務係、資料受入係、学術コンテンツ係、桜ヶ丘分館管理係
情報サービス課：資料サービス係、参考調査係、情報リテラシー係、桜ヶ丘分館情報サービス係、水産学部分館図書係
全館開館時間の拡大実施（平日午前8時30分から）
- 19.10 アメニティコーナー設置
- 19.12 「鹿児島大学附属図書館文献複写規則」制定
20. 4 中央図書館 開館時間の拡大実施(平日午後9時30分まで、土日午後6時まで)
20. 6 中央図書館3階に「総合案内デスク」を設置し、サービスを開始
20. 7 情報サービス課の参考調査係と情報リテラシー係を情報調査支援係に統合
21. 3 中央図書館冷暖房装置の燃料を重油からガスへ切替
全館の閲覧机の一部に間仕切り設置
中央図書館の西日対策として遮光フィルムを貼付
中央図書館にギャラリー‘アトリウム’を設置し大型の移動式パネルと照明を導入
中央図書館に電子掲示板システムを導入
桜ヶ丘分館にアメニティコーナー設置
水産学部分館にグループ学習室を設置
21. 4 情報管理課と情報企画推進室を情報企画管理課に統合
情報企画管理課：総務係、情報企画係、情報システム管理係、資料受入係、学術コンテンツ係、桜ヶ丘分館管理係
21. 8 「附属図書館自己点検・評価報告書」公開
- 21.10 鹿児島大学歴史展示室設置
22. 2 「鹿児島大学附属図書館貴重書利用規則」制定
22. 3 中央図書館にグループ学習室の増設、アメニティルームの設置
桜ヶ丘分館のアメニティルームを拡張
22. 4 電子書籍サービス開始
22. 7 事務組織の再編により情報企画管理課を情報管理課へ変更
情報管理課：総務係、資料受入係、学術コンテンツ係
情報サービス課：資料サービス係、情報調査支援係、桜ヶ丘分館情報サービス係、水産学部分館情報サービス係
- 22.11 「鹿児島大学附属図書館印刷サービス規則」廃止
23. 3 桜ヶ丘分館に図書自動貸出装置を導入
23. 4 英国下院議会文書データベース、サービス開始
23. 6 中央図書館において入退館システム稼働
23. 7 「鹿児島大学リポジトリに関する要項」制定
24. 3 鹿児島県学術共同リポジトリ（愛称KARN）運用開始
「国立大学法人鹿児島大学図書館企画室要項」制定
24. 4 「鹿児島大学附属図書館一般利用者の利用に関する要項」制定
「鹿児島大学附属図書館桜ヶ丘分館一般利用者の利用に関する要項」制定
「鹿児島大学附属図書館水産学部分館一般利用者の利用に関する要項」制定
大学図書館企画室設置
24. 8 図書館公式キャラクター名前決定（ブックマ、まなぶた）
24. 9 桜ヶ丘分館開館時間の拡大実施（平日午後9時30分まで）
25. 3 中央図書館に視覚障がい学生に対する学習支援機器を整備
25. 4 中央図書館の進取の精神コーナー「進取の精神コレクション」整備
25. 7 中央図書館の試験期の土日の開館時間を延長
- 25.11 「鹿児島大学附属図書館中央図書館グループ学習室及び研究個室利用要項」制定
- 25.12 「鹿児島大学附属図書館Twitterの運用に関する申合せ」制定
26. 1 桜ヶ丘分館エレベータ設置

- 平成 26. 3 中央図書館1～5階南側トイレ改修工事竣工
「鹿児島大学附属図書館中央図書館利用規則等の利用者の範囲に関する申合せ」制定
水産学部分館改修工事竣工
桜ヶ丘分館外壁・玄関改修工事竣工
26. 4 「鹿児島大学附属図書館貴重書利用規則」改正
26. 6 水産学部分館リニューアルオープン
「水産学部分館セミナールーム遠隔講義システムに関する申し合わせ」制定
26. 7 「鹿児島大学附属図書館自己点検・評価報告書」公開
「鹿児島大学附属図書館中央図書館における国立国会図書館デジタル化資料送信サービス実務要項」制定
「鹿児島大学附属図書館防犯カメラ運用要項」制定
中央図書館：学部学生への一般貸出冊数の変更（5冊まで→10冊まで 夏休み貸出から試行）
26. 8 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始
26. 9 「図書館職員選定図書に関する申し合わせ」改正
- 26.10 「鹿児島大学附属図書館水産学部分館グループ学習室及びセミナールーム利用要項」制定
- 26.11 「鹿児島大学附属図書館図書館資料の除却に関する実務要項」改正
「鹿児島大学附属図書館図書館資料の重複資料の除却に関する取扱い」制定
- 26.12 中央図書館入口カウンターとレファレンスデスク統合
大学学習資源コンソーシアム（C L R）に入会
27. 4 中央図書館カウンター及び情報サービス課事務室一元化
「鹿児島大学附属図書館中央図書館利用規則」改正
27. 5 中央図書館サポーター制度開始
27. 7 「鹿児島大学附属図書館防犯カメラ運用要項」廃止
28. 4 桜ヶ丘分館メディカルオンラインサービス開始
28. 9 「鹿児島大学附属図書館大判プリンタ利用規則」制定
大判プリンタ利用サービス開始
「鹿児島大学附属図書館桜ヶ丘分館利用規則」改正
「鹿児島大学附属図書館桜ヶ丘分館における桜ヶ丘卒業生への図書貸出に関する要項」制定
29. 4 事務組織の再編により水産学部分館情報サービス係を資料サービス係に統合、情報サービス課に専門職員（貴重書担当）を配置
情報管理課：総務係、資料受入係、学術コンテンツ係
情報サービス課：専門職員（貴重書担当）、資料サービス係、情報調査支援係、桜ヶ丘分館情報サービス係
30. 3 引用文献データベース「Web of Science」の提供を終了し、「Scopus」を導入
30. 5 「鹿児島大学附属図書館学生用選書に関する申合せ」制定
「鹿児島大学附属図書館資料の収集及び選定に関する実務要項」廃止
- 30.10 中央図書館ラーニングコモンズ設置
- 30.12 「鹿児島大学附属図書館桜ヶ丘分館及び水産学部分館の通称名に関する申合せ」制定
31. 3 中央図書館入退館システム更新
中央図書館カウンター移設
桜ヶ丘分館2階南側書架閲覧エリアへ改修

附属図書館長			
西 力造	(農 学 部)	昭和25. 5.15～昭和28.11.26	
渋谷 正健	(農 学 部)	昭和28.11.27～昭和32.11.26	
尾崎 忍	(一般教養部)	昭和32.11.27～昭和36.11.26	
藤田 親男	(水 産 学 部)	昭和36.11.27～昭和38.11.26	
増村 宏	(法 文 学 部)	昭和38.11.27～昭和40.11.26	
西山 武一	(法 文 学 部)	昭和40.11.27～昭和42.11.26	
丹下 信雄	(法 文 学 部)	昭和42.11.27～昭和45. 5.17	
大庭 千尋	(法 文 学 部)	昭和45. 5.18～昭和49. 3.31	
山根銀五郎	(理 学 部)	昭和49. 4. 1～昭和50. 1.31	
桃園 恵真	(法 文 学 部)	昭和50. 2. 1～昭和52. 1.31	
浦野 芳	(理 学 部)	昭和52. 2. 1～昭和56. 1.31	
五味 克夫	(法 文 学 部)	昭和56. 2. 1～昭和60. 1.31	
上村 剛一	(法 文 学 部)	昭和60. 2. 1～昭和63. 3.31	
税所 俊郎	(水 産 学 部)	昭和63. 4. 1～平成 4. 3.31	
石橋 丸應	(医 学 部)	平成 4. 4. 1～平成 5. 3.31	
荒川 譲	(教 養 部)	平成 5. 4. 1～平成 9. 3.31	
山下 智	(理 学 部)	平成 9. 4. 1～平成12. 3.31	
中山 右尚	(教 育 学 部)	平成12. 4. 1～平成14. 3.31	
石田 尚治	(理 学 部)	平成14. 4. 1～平成16. 3.31	
早川 勝光	(理 学 部)	平成16. 4. 1～平成20. 3.31	
井上 佳朗	(法 文 学 部)	平成20. 4. 1～平成24. 3.31	
野呂 忠秀	(水 産 学 部)	平成24. 4. 1～平成28. 3.31	
平井 一臣	(法 文 学 部)	平成28. 4. 1～平成29. 3.31	
鈴木 廣志	(水 産 学 部)	平成29. 4. 1～平成31. 3.31	
橋口 知	(教 育 学 部)	平成31. 4. 1～現 在	

旧医学部分館長

平野 清寿	昭和33. 5. 1～昭和39. 4.30
久保 隆一	昭和39. 5. 1～昭和43. 4.30
川路 清高	昭和43. 5. 1～昭和46. 3.31
城 哲男	昭和46. 4. 1～昭和48. 3.31
寺脇 保	昭和48. 4. 1～昭和50. 3.31
大保不二夫	昭和50. 4. 1～昭和52. 3.31
松本 保久	昭和52. 4. 1～昭和54. 3.31

旧宇宿分館長

橋村 三郎	(医 学 部)	昭和54. 4. 1～昭和56. 3.31
柚木 一雄	(医 学 部)	昭和56. 4. 1～昭和58. 3.31
佐藤 淳夫	(医 学 部)	昭和58. 4. 1～昭和60. 3.31
脇阪 一郎	(医 学 部)	昭和60. 4. 1～昭和62. 3.31
田代 正昭	(医 学 部)	昭和62. 4. 1～平成 元. 3.31
小片 丘彦	(歯 学 部)	平成 元. 4. 1～平成 3. 3.31
石橋 丸應	(医 学 部)	平成 3. 4. 1～平成 4. 3.31

事務長

尾崎 唯一	昭和39. 1.16～昭和41. 3.31
上松 清徳	昭和41. 4. 1～昭和45. 6.30
精松 良雄	昭和45. 7. 1～昭和49. 3.31

事務部長

黒住 武	昭和49. 4. 1～昭和52. 3.31
沙藤 隆茂	昭和52. 4. 1～昭和54. 3.31
蓑輪 武	昭和54. 4. 1～昭和56. 3.31
岩井 昭三	昭和56. 4. 1～昭和58. 3.31
阿部 武	昭和58. 4. 1～昭和62. 3.31
渋谷 喜雄	昭和62. 4. 1～平成 元. 3.31
重松多喜造	平成 元. 4. 1～平成 3. 3.31
坂口 淳二	平成 3. 4. 1～平成 6. 3.31
佐田 忠鴻	平成 6. 4. 1～平成 8. 3.31
田尻 英雄	平成 8. 4. 1～平成11. 3.31
香川 一郎	平成11. 4. 1～平成13. 3.31
安永 勉	平成13. 4. 1～平成15. 3.31
森松 睦雄	平成15. 4. 1～平成18. 3.31
寺垣 敏司	平成18. 4. 1～平成19. 3.31

学術情報部長

寺垣 敏司	平成19. 4. 1～平成21. 3.31
長友 良維	平成21. 4. 1～平成24. 3.31
飯田 昇平	平成24. 4. 1～平成26. 3.31
渡邊 俊彦	平成26. 4. 1～平成30. 3.31
山本 和雄	平成30. 4. 1～現 在

整理課長

精松 良雄	昭和49. 4. 1～昭和51. 3.31
砂本 眞	昭和51. 4. 1～昭和53. 3.31
有馬 満雄	昭和53. 4. 1～昭和60. 3.31
池口 順一	昭和60. 4. 1～昭和63. 3.31
岡 博満	昭和63. 4. 1～昭和63. 4. 7

情報管理課長

岡 博満	昭和63. 4. 8～平成 3. 3.31
池口 順一	平成 3. 4. 1～平成 5. 3.31
小川 正明	平成 5. 4. 1～平成 8. 3.31
森 生也	平成 8. 4. 1～平成10. 3.31
蓑原 和秀	平成10. 4. 1～平成13. 3.31
吉田 秀紀	平成13. 4. 1～平成16. 3.31
渡邊 俊彦	平成16. 4. 1～平成17.12.31
古賀 幸成	平成18. 1. 1～平成19. 3.31
吉田 英明	平成19. 4. 1～平成21. 3.31

情報企画管理課長

森田 博人	平成21. 4. 1～平成22. 3.31
上國料 宏	平成22. 4. 1～平成22. 6.30

情報管理課長

松野下繁文	平成22. 7. 1～平成23. 3.31
松田 孝三	平成23. 4. 1～平成26. 3.31
二石 章	平成26. 4. 1～平成30. 3.31
河野 泰久	平成30. 4. 1～現 在

桜ヶ丘分館長

松下 敏夫	(医 学 部)	平成 4. 4. 1～平成 6. 3.31
水枝谷 涉	(歯 学 部)	平成 6. 4. 1～平成 7. 3.31
津金澤督雄	(医 学 部)	平成 7. 4. 1～平成11. 3.31
小椋 正	(歯 学 部)	平成11. 4. 1～平成13. 3.31
中河 志朗	(医 学 部)	平成13. 4. 1～平成15. 3.31
秋山 伸一	(医 学 部)	平成15. 4. 1～平成17. 3.31
原田 秀逸	(大学院医歯学総合研究科)	平成17. 4. 1～平成19. 3.31
波多野浩道	(医 学 部)	平成19. 4. 1～平成21. 3.31
出雲 周二	(大学院医歯学総合研究科)	平成21. 4. 1～平成23. 3.31
鳥居 光男	(歯 学 部)	平成23. 4. 1～平成25. 3.31
武井 修治	(医 学 部)	平成25. 4. 1～平成27. 3.31
小片 守	(大学院医歯学総合研究科)	平成27. 4. 1～平成29. 3.31
仙波伊知郎	(大学院医歯学総合研究科)	平成29. 4. 1～平成31. 3.31
築瀬 誠	(医 学 部)	平成31. 4. 1～現 在

水産学部分館長

伊豆川浅吉	(水 産 学 部)	昭和24. 9.15～昭和28. 6.15
村山 三郎	(水 産 学 部)	昭和28. 6.16～昭和30. 6.15
柏田 研一	(水 産 学 部)	昭和30. 6.16～昭和32. 6.15
今田 清二	(水 産 学 部)	昭和32. 6.16～昭和34. 6.15
田中 剛	(水 産 学 部)	昭和34. 6.16～昭和36. 2.23
藤田 親男	(水 産 学 部)	昭和36. 2.24～昭和36.11.26
太田 冬雄	(水 産 学 部)	昭和36.11.27～昭和38.11.26
柏田 研一	(水 産 学 部)	昭和38.11.27～昭和40.11.26
高橋 淳雄	(水 産 学 部)	昭和40.11.27～昭和42.11.26
今井 貞彦	(水 産 学 部)	昭和42.11.27～昭和48.11.26
片山 輝久	(水 産 学 部)	昭和48.11.27～昭和58. 4. 1
八木 庸夫	(水 産 学 部)	昭和58. 4. 2～昭和61. 3.31
奈良迫嘉一	(水 産 学 部)	昭和61. 4. 1～昭和62. 3.31
税所 俊郎	(水 産 学 部)	昭和62. 4. 1～昭和63. 3.31
日高 富男	(水 産 学 部)	昭和63. 4. 1～平成 4. 3.31
鮫島 宗雄	(水 産 学 部)	平成 4. 4. 1～平成 7. 3.31
尾上 義夫	(水 産 学 部)	平成 7. 4. 1～平成15. 3.31
松田 恵明	(水 産 学 部)	平成15. 4. 1～平成17. 3.31
坂田 泰造	(水 産 学 部)	平成17. 4. 1～平成19. 3.31
川村 軍蔵	(水 産 学 部)	平成19. 4. 1～平成22. 3.31
板倉 隆夫	(水 産 学 部)	平成22. 4. 1～平成26. 3.31
不破 茂	(水 産 学 部)	平成26. 4. 1～平成27. 3.31
山本 淳	(水 産 学 部)	平成27. 4. 1～平成29. 3.31
重廣 律男	(水 産 学 部)	平成29. 4. 1～現 在

閲覧課長

山下 政二	昭和49. 4. 1～昭和51. 3.31
永久 昭二	昭和51. 4. 1～昭和55. 3.31
斉藤現太郎	昭和55. 4. 1～昭和57. 3.31
本多 震一	昭和57. 4. 1～昭和60. 3.31
坂口 淳二	昭和60. 4. 1～昭和62. 3.31
北村 武夫	昭和62. 4. 1～昭和63. 4. 7

情報サービス課長

北村 武夫	昭和63. 4. 8～平成 2. 3.31
長津 俊	平成 2. 4. 1～平成 4. 3.31
早瀬 均	平成 4. 4. 1～平成 7. 3.31
北村 明久	平成 7. 4. 1～平成 9. 3.31
村上 章徳	平成 9. 4. 1～平成12. 3.31
河野 雅史	平成12. 4. 1～平成14. 3.31
渡邊 俊彦	平成14. 4. 1～平成16. 3.31
吉田 英明	平成16. 4. 1～平成19. 3.31
小川 稔	平成19. 4. 1～平成22. 3.31
瓜生 照久	平成22. 4. 1～平成24. 3.31
能勢 明雄	平成24. 4. 1～平成26. 3.31
高木 貞治	平成26. 4. 1～平成29. 3.31
河野 泰久	平成29. 4. 1～平成30. 3.31
山本 和雄	平成30. 4. 1～平成31. 3.31
徳田 眞澄	平成31. 4. 1～現 在

●中央図書館

市営バス	9武岡・鴨池港線 11鴨池・冷水線 (鹿児島中央駅経由)	18大学病院線 20緑ヶ丘・鴨池港線	鹿大正門前または法文学部前下車
市電	1系統 2系統		騎射場電停下車 唐湊電停、工学部前電停下車
鹿児島交通バス	19紫原・桜ヶ丘五丁目 (鹿児島中央駅経由)		鹿大正門前または法文学部前下車
南国交通バス	30県庁西・鴨池新町方面 (鹿児島中央駅経由)		鹿大教育学部前下車

●桜ヶ丘分館

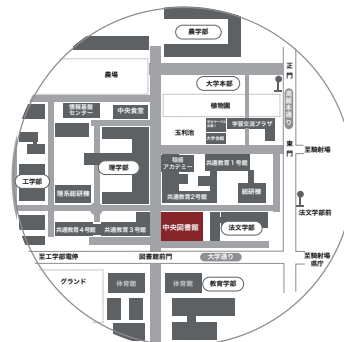
市営バス	鹿児島中央駅経由 18大学病院線 脇田電停前発 18大学病院線 (シャトル便)	大学病院前または歯学部前下車
市電	1系統	脇田電停下車
鹿児島交通バス	17桜ヶ丘団地 19紫原・桜ヶ丘五丁目 (鹿児島中央駅経由)	大学病院前または歯学部前下車
JR指宿枕崎線		宇宿駅下車

●水産学部分館

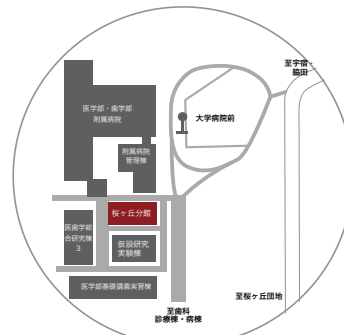
市営バス	11鴨池・冷水線 (鹿児島中央駅経由)	体育館前下車 水産学部前下車
市電	1系統	騎射場電停下車



中央図書館



桜ヶ丘分館



水産学部分館



鹿児島大学公式マスコットキャラクター

さっしん



編集・発行：鹿児島大学附属図書館
〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番35号
TEL 099-285-7415
<https://www.lib.kagoshima-u.ac.jp/>
2019年6月発行

図書館公式キャラクター
ブックマ まなぶた

